

岐阜県博物館報

第46号

2023
岐阜県博物館

は じ め に

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、館内での展覧会（特別展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を開催しました。

特別展「発見！いにしへの岐阜 ―弥生・古墳・古代―」では、弥生時代から古代の選りすぐりの“発見”を出土品によって紹介するとともに、調査・研究が大きく進んだ弥生時代末から古墳時代初めの墳墓・古墳にも特に注目し、あらためて岐阜の歴史に思いをはせる展示を行いました。特別展「パレオアート作品展 ―二人のパレオアーティスト―」では、小田隆氏（画家・イラストレーター）の古生物復元画と、徳川広和氏（古生物復元模型作家）の古生物復元模型を通して、恐竜を中心とした古生物を科学と芸術の両面から楽しむ展示を行いました。連携企画展「蔵出し！骨のあるやつ」では、岐阜県博物館と岐阜大学が収集した資料を中心に、いろいろな動物の骨をたっぷり紹介することで、骨の形の不思議さや美しさを楽しみながら知っていただきました。企画展「天下人 家康と美濃の諸将」では、家康の時代を経て美濃の地がどのように変化していったのかを探る機会としました。

このほか、博物館・図書館連携企画展「岐阜県博物館コレクション つながる、ひろがる錦絵展」、移動展「いつでも防災 次の“その時”に備えよう」、博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜県の野生動物 身近で多様な「隣人」たち」、主催イベント「荘川化石フォーラム」等、館外で開催する展覧会・イベントも実施することができました。また、岐阜県博物館 DX 事業として「恐竜 AR アプリ」、「恐竜 VR 体験」、「刀剣鑑賞 自由自在」を開発し、岐阜県博物館の人気コンテンツである恐竜と刀剣を、360 度広がる仮想現実の世界や超高精細画像で楽しんでいただくことができました。

令和 5 年度は、特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粹^{いき}」では、豊かな自然環境のもと、地域の生活や文化と深くかかわってきた「祭り」をとりあげ、岐阜県内の様々な地域における「祭り」を知ることによって自分の住む地域以外の「祭り」や神事への興味関心を高める展覧会を開催します。特別展「出かけよう！0→3,000mの旅 ―植物が彩る物語―」では、海拔 0m から標高 3,000m までの旅路を辿り、植物を中心とした岐阜の豊かな自然が彩る物語について紹介し、変化に富んだ自然の宝箱を開き、魅力ある自然と触れ合う展覧会を開催します。

このほか、博物館・図書館連携企画展、博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展、移動展等、館外の県内各地で開催する展覧会も計画しています。また、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画講演会を含む全 14 回の講演会や、収蔵庫探検などを含む全 32 回のけんぱく教室を開催するなど、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、民間商業施設との連携イベント、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、令和 4 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 46 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 森 島 勝 博

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 令和5年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 令和4年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	12
6 調査研究活動	22
7 資料収集活動	27
8 教育普及活動	28
9 利用状況	37
10 博物館関係団体	38

IV 利用案内（令和5年度）

39

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示

各展示室の主題と内容は、次のとおりである。

- ・人文展示室（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」・・・先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」・・・郷土の自然の概要を系統的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」・・・特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室、企画展示室
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

4	沿革			10月	開館10周年記念式典挙行 開館10周年記念展「ふるさとの祭り」		10月	入館者160万人を突破	
							12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）	
昭和46年	3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において博物館建設決定		昭和62年	4月	特別展「飛騨の弥生時代」 入館者110万人を突破	平成7年	3月	マイ・ミュージアム棟工事完成
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置			7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」			ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成
	6～9月	博物館懇談会を設ける			10月	特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元			特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示
昭和47年	4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける		昭和63年	1月	自然展示室1を改装		4月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行、一般公開
		起上式挙行			4月	特別展示室ショーケース改修		8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
昭和48年	8月	展示実施計画樹立			7月	特別展「ふるさとの湿原」 中部未来博'88記念展「中山道～美濃十六宿～」		7月	恐竜展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」 入定三百年記念「円空展」（共催名古屋市）
昭和49年	3月	定礎式			10月	特別展「中生代の化石」 入館者120万人を突破		10月	「マルチメディア工房ぎふ」開設（県下第1号） 円空シンポジウム「世界における円空」
昭和50年	3月	展示工事着手			7月	特別展「濃飛の古墳時代」		4月	高校生常設展入館料無料化
	7月	本館建築竣工			10月	特別展「ふるさとの野鳥」		5月	入館者170万人を突破
昭和51年	1月	展示工事完了			8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見		7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
	4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	平成元年	4月	特別展「移ろいゆく年中行事」		8月	アメリカ合衆国ユタ州プリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	
	5月	開館記念式典挙行 一般公開「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊寄贈		10月	飛騨美濃合併120周年記念展	
	7月	皇太子・同妃殿下行啓			10月	特別展「輪中と治水」		11月	「岐阜県の明治維新」 飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」（阿川弘之氏、山田智彦氏（作家））
	8月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者10万人を突破			7月	特別展「白山の自然」 恐竜足跡化石レブリカ除幕式	平成8年	4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成
	10月	入館料徴収開始	平成2年	4月			5月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」	
	11月	特別展「熊谷守一展」		7月			9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」	
昭和52年	5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者20万人を突破					11月	入館者180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館「マイ・ミュージアム」～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」 財団法人日本博物館協会表彰	
	7月	特別展「郷土の化石展」					平成10年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソフト完成
昭和53年	11月	特別展「鉄斎」					4月	アロサウルス骨格標本展示	
	4月	入館者30万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」						4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
	7月	特別展「世界のコガネムシ」						7月	特別展「つものつかぶとむし」
昭和54年	10月	特別展「能面と装束」 入館者40万人を突破							特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」
	4月	特別展「濃飛の先史時代」		10月	特別展「濃飛の仏像」 岐阜県博物館協議会から中間答申				特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」 入館者190万人を突破
	7月	特別展「世界の貝」		12月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申				特別展「恐竜時代」
	10月	特別展「濃飛の文人」	平成3年	3月	岐阜県博物館案内標識を設置				特別展入館者4万人突破
	11月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設		4月	特別展「ふるさとの木の文化」				特別展「水とまつり～古代人の祈り～」
昭和55年	4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」				特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」
	5月	入館者50万人を突破							
	7月	特別展「化石の世界」							
	10月	特別展「蓑虫山人」							
昭和56年	4月	特別展「美濃の絵馬」 入館者60万人を突破							
	5月	入館者60万人を突破							
	7月	特別展「御岳山は生きている」							
	10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	平成4年	3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申				
昭和57年	4月	特別展「高賀山の信仰」 入館者70万人を突破		4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」				
	7月	特別展「ふるさとの植物」							
	10月	特別展「東洋の貨幣」		7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」				
昭和58年	4月	特別展「岐阜県の考古遺物」 入館者80万人を突破							
	5月	入館者80万人を突破							
	7月	特別展「長良川」							
	10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」							
昭和59年	4月	特別展「濃飛の戦国武将」							
	7月	特別展「ふるさとの昆虫」	平成5年	3月	入館者150万人を突破				
	8月	入館者90万人を突破		4月	特別展「土と炎の芸術」				
	10月	学習ビデオスタジオコーナー設置		9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘				
		特別展「濃飛の蘭学」		10月	特別展「失われゆく植物」				
昭和60年	4月	特別展「濃飛の縄文時代」		11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージコミュニケーションソフト完成				
	7月	特別展「鉱物の世界」							
	10月	特別展「美濃の刀剣」 入館者100万人を突破	平成6年	1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式				
	12月	自然展示室2を改装		3月	大型ほ乳類足跡化石を展示				
昭和61年	4月	特別展「徳山の四季とくらし」		4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」				
	7月	特別展「奥飛騨の自然」							
	9月	人文展示室1を改装		8月	恐竜の歯等荘川村で発見				
				9月	特別展「美濃山地の自然」				

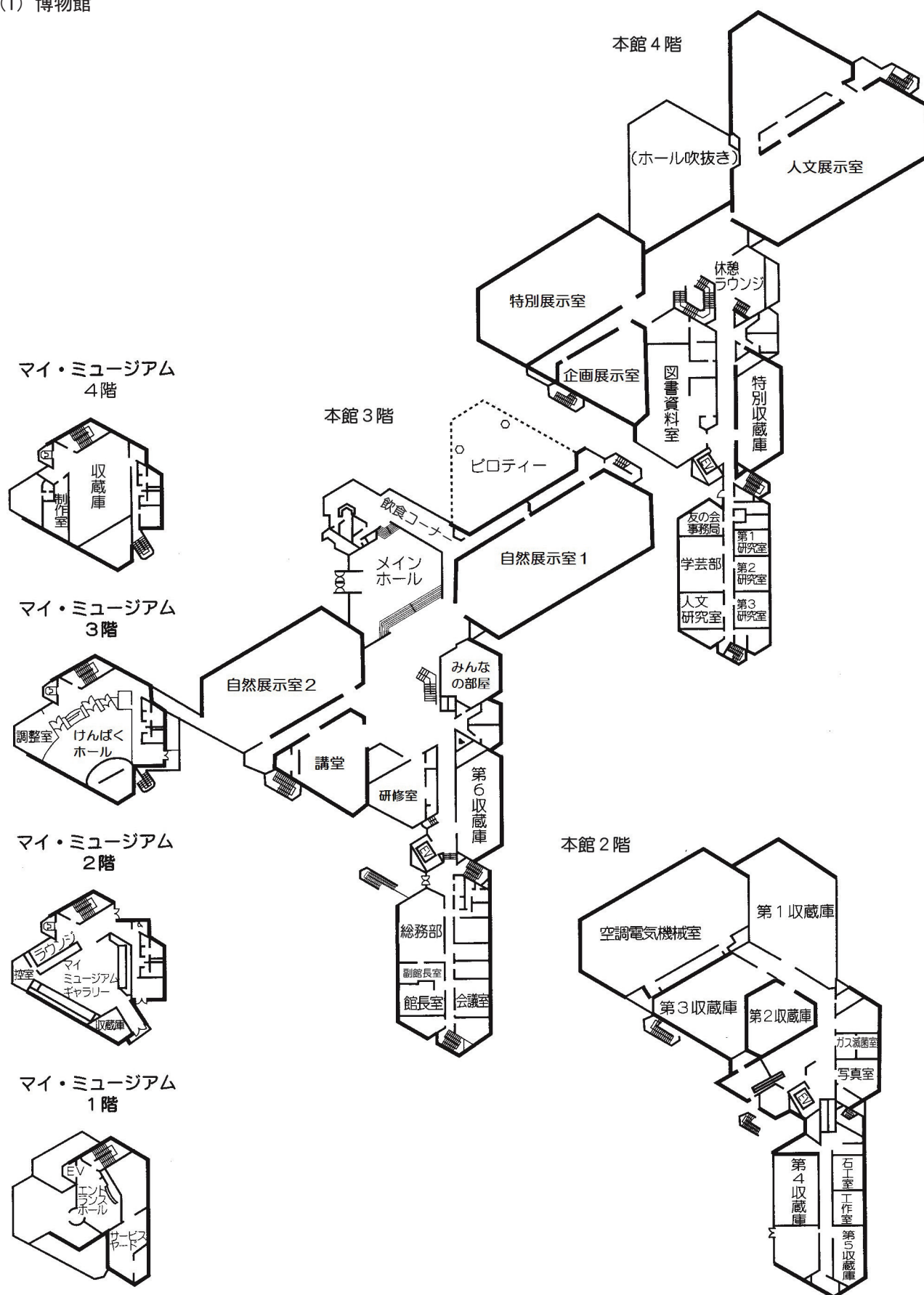
平成12年	7月	特別展「海を越えた明治 ～ヨーロッパが愛した焼 き物の美～」	8月	ト会場～来館者全員招待 入館～	9月	(国内初発見) 特別展示 飛騨美濃合併140周年・岐 阜県博物館開館40周年記念 特別展「東海地方の円空仏」 SNS開設		
	9月	特別展「すばらしき東濃の 自然、再発見～巨大ヒノキ が見てきた生き物たち～」	9月	飛騨美濃合併 130周年記念 行事博物館1日無料開放	平成29年	4月	民間施設連携開始	
	11月	入館者200万人を突破	9月	飛騨美濃合併130周年記 念特別展「錦絵が語る美 濃と飛騨」	7月	特別展「生きている大地～ 地質図が語るぎふの大地～」		
平成13年	7月	特別展「あのころいた鳥 ～そういえばトキもおっ たげな～」	11月	文化の日博物館無料開放	9月	中濃地域連携企画展		
	9月	特別展「七代目団十郎と 国貞、国芳～芝居、錦絵、 中山道～」	平成19年	7月	特別展「恐竜と生命の大進 化～中国雲南5億年の旅～」	特別展「壬申の乱の時代 ー美濃国・飛騨国の誕生 に迫る」		
	11月	ハイビジョン静止画番組 「石ころの動物園」(マイ ミュージアムギャラリー) 全国ハイビジョン手づく りソフトフェスタ2001グ ランプリ受賞	9月	特別展「発掘された日本 列島2007～新発見考古 速報展～」	10月	関市シティバス「百年公 園前」バス停新設		
			10月	入館者250万人を突破	12月	収蔵品選集製作		
			11月	文化の日博物館無料開放 開始	平成30年	4月	特別企画展「兼定 刀都・ 関の名工」	
			平成20年	5月	日本生命財団から図書 「岐阜県博物館総合案内」 3,800冊寄贈	5月	入館者300万人を突破	
平成14年	2月	NEDO共同研究事業太陽光 発電システム完成	9月	特別展「骨のあるやつ」	7月	特別展「理科室からふる さとの自然を見つめて～ 知れば知るほど面白い標 本の世界～」		
	3月	バリアフリー対策事業小 型モノレール(スロープ カー)完成	平成21年	9月	特別展「人、和して楽し む～岐阜の文楽～」	博物館機能全県展開本格 稼働		
	4月	特別展「温泉展～湯の華 からのメッセージ～」	10月	入館者260万人を突破	9月	特別展「信長・秀吉・家 康と美濃池田家一大御乳・ 池田恒興・輝政の戦い」		
	5月	入館者210万人を突破	平成23年	9月	開館35周年記念特別展 「濃尾震災120年」	令和元年	7月	特別展「剣精畫貫白虹一 幕未美濃の剣豪と名刀」
平成15年	10月	特別展「中山道街道400年」	11月	入館者270万人を突破	9月	特別展「岐阜は日本のど 真ん中ー岐阜県植物誌は 語るー」		
	7月	特別展「昭和くらしの歩 み～30年代を中心に～」	平成24年	7月	特別展「ジオペディアぎふ」	12月	入館者310万人を突破	
	9月	特別展「野の幸・山の幸、 岐阜～発見! キノコと山 菜、薬草の魅力～」	9月	特別展「飛騨・美濃の信 仰と造形」	令和2年	4月	新型コロナウイルス感染 症の拡大防止のため、 4/4～5/18を臨時休館	
	10月	入館者220万人を突破	平成25年	9月	特別展「岐阜、染と織の 匠たち」	9月	特別展「光秀が駆けぬけ た戦国の岐阜」	
平成16年	7月	特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんな くらしをしていたの?～」	平成26年	2月	入館者280万人を突破	12月	特別企画展「みんなの恐 竜学」	
	9月	特別展「里山ミュージア ム～ドングリころころオ オタカびゅーん～」	7月	特別展「奇なるものへの挑 戦、明治大正／異端の科学」	令和3年	7月	特別展「薩摩の陶と刀」	
平成17年	4月	高校生以下入館料年間無料 化(特別展入館料無料化)	9月	特別展「里山いま昔ー人 と自然あらたな「絆」を 求めてー」	8月	新型コロナウイルス感染 症の拡大防止のため、 8/27～9/30を臨時休館		
	5月	入館者230万人を突破	平成27年	4月	百年公園駐車場を無料化	10月	特別企画展「今日から防 災!」	
	7月	特別展「線路はつづくよ ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	9月	特別展「自然のくすり箱 ～薬草とわたしたちの暮 らし～」	令和4年	5月	入館者320万人を突破	
	9月	特別展「『名水・温泉・ 名勝』展～水と大地の ハーモニー～」	平成28年	7月	飛騨美濃合併140周年・岐 阜県博物館開館40周年記 念特別展「新・恐竜学～鳥 になった恐竜の脳科学～」	9月	特別展「発見! いにしえ の岐阜ー弥生・古墳・古 代ー」	
平成18年	4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展 「緑いきいき! 岐阜の森」	8月	入館者290万人を突破	12月	特別展「パレオアート作 品展ー二人のパレオアー ティストー」		
	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライ						

5 歴代館長名簿

	在職期間 (年度)	氏 名		在職期間 (年度)	氏 名
1	昭和51年	小 幡 忠 良	16	平成17年	下 畑 五 夫
2	昭和52年～昭和54年	松 尾 克 美	17	平成18年	古 川 和 明
3	昭和55年～昭和56年	大 橋 桃之輔	18	平成19年～平成20年	高 屋 一 行
4	昭和57年～昭和58年	吉 本 幹 彦	19	平成21年	浅 野 裕 司
5	昭和59年	関 谷 美智男	20	平成22年	石 田 克
6	昭和60年～昭和61年	廣 田 照 夫	21	平成23年～平成24年	河 合 正 明
7	昭和62年～昭和63年	森 崎 利 光	22	平成25年～平成26年	後 藤 弘 之
8	平成元年～平成2年	伊 藤 秀 幸	23	平成27年	杉 原 茂 男
9	平成3年～平成4年	篠 田 幸 男	24	平成28年	水 谷 淳 子
10	平成5年～平成6年	横 山 勢津男	25	平成29年	中 島 守
11	平成7年～平成8年	清 水 廣 美	26	平成30年～令和元年	平 井 克 昭
12	平成9年～平成10年	高 田 晃	27	令和2年	川 本 敏
13	平成11年～平成12年	遠 藤 祐 神	28	令和3年	副 島 雅 浩
14	平成13年～平成14年	高 橋 宏 之	29	令和4年～	森 島 勝 博
15	平成15年～平成16年	武 山 栞 司			

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	講堂	174.5			
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
4階	人文展示室	942.3	4階	収蔵庫等	281.3
	特企画展示室	478.8			
	図書資料室	193.2	マイ・ミュージアム棟合計	842.7	
	特収蔵庫	232.2			
	特別収蔵庫	142.8	本館合計	4,344.3	
本館合計		4,344.3			

(2) 館外施設

①自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

②旧徳山村民家

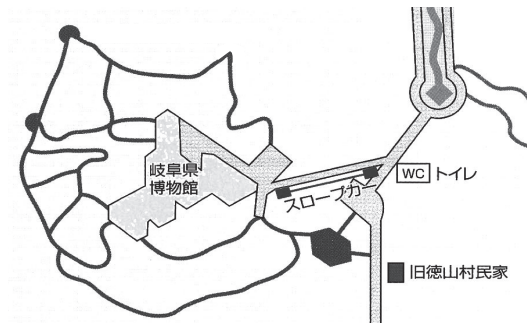
徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村となった（揖斐川町に合併）が、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開してきた。

平成30年11月、「旧宮川家住宅主屋」として国登録有形文化財に登録された。令和元年度より保存活用事業を進めており、令和5年12月に完了予定である。

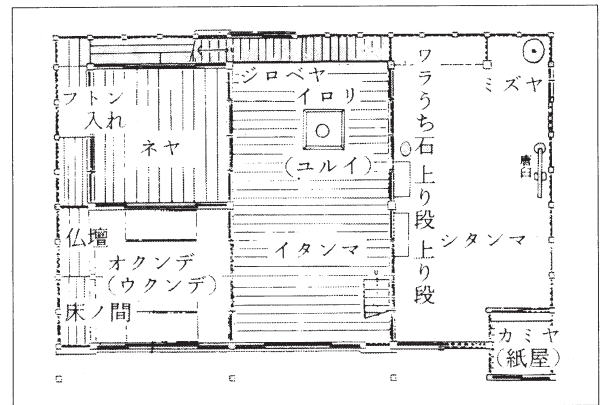
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



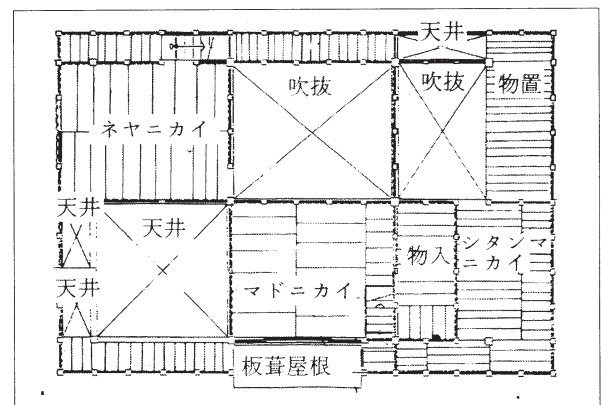
旧徳山村民家



自然観察のこみち



▲1階間取り図

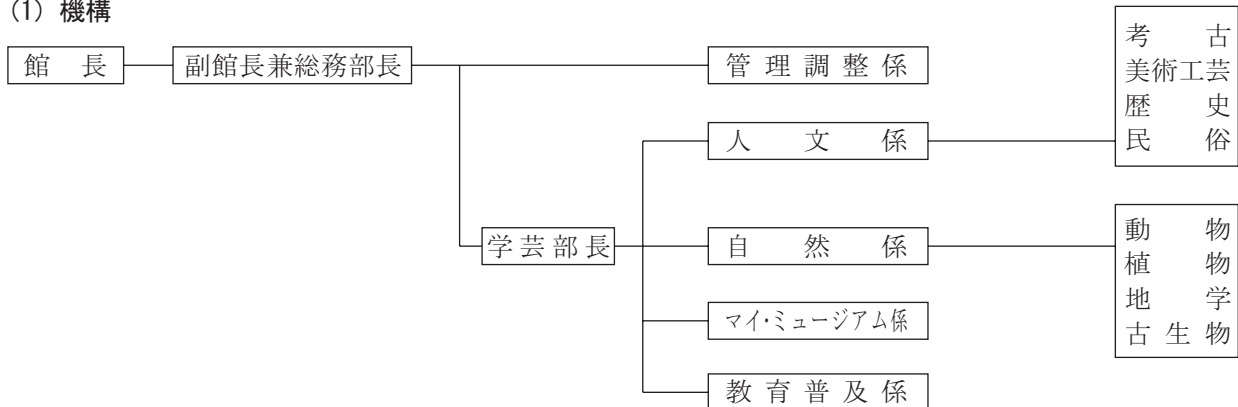


▲2階間取り図

Ⅱ 令和5年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長 副館長兼総務部長	森島勝博 河田哲也	【学芸部】 学芸部長	山田昭彦	〔マイ・ミュージアム係〕 係長 主査 学芸業務専門職 デジタル・アーカイブ業務専門職	南本有紀 浅野伸保 高屋嘉文 東條佳緒里
【総務部】 〔管理調整係〕 課長補佐兼係長 課長補佐 主査 主事 会計・人事労務業務専門職 補助職員(事務補助)	堀拓嗣 安江寿明 古田里香 間宮千尋 小野真紀 梅村早夜花	〔人文係〕 係長(考古) 主査(民俗) 主事(歴史) 〃(美術工芸) 〃(歴史)	近藤大典 長野宜延 松井絵里子 中川創喜	〔教育普及係〕 課長補佐兼係長 主査 学芸業務専門職 〃 管理業務専門職 〃 〃 〃 〃 〃	則竹裕嗣 星野友多 千藤克彦 武藤由子 坪井宏美 長田麻友子 福島江里菜 倉橋美紀子 鈴木奈おみ 宮崎亜優
		〔自然係〕 係長(動物) 主査(植物) 主任(地学) 〃(古生物)	説田健一 武藤正樹 熊澤忍 高津翔平		

(3) 異動(令和5年4月1日)

転出者 (退職者)	副館長兼総務部長 課長補佐 主任 主事 学芸業務専門職 管理業務専門職 補助職員 補助職員	(寺嶋祐三) (林英和) 土屋寿美 安藤均 松島史弥 (橋本清) (加藤章) (益田豊子) (沢智美)	転入者	副館長兼総務部長 課長補佐 主査 主事 〃 学芸業務専門職 管理業務専門職 デジタル・アーカイブ業務専門職 補助職員	河田哲也 安江寿明 武藤正樹 間宮千尋 中川創喜 千藤克彦 宮崎亜優 東條佳緒里 梅村早夜花
--------------	--	---	-----	--	--

2 展示活動

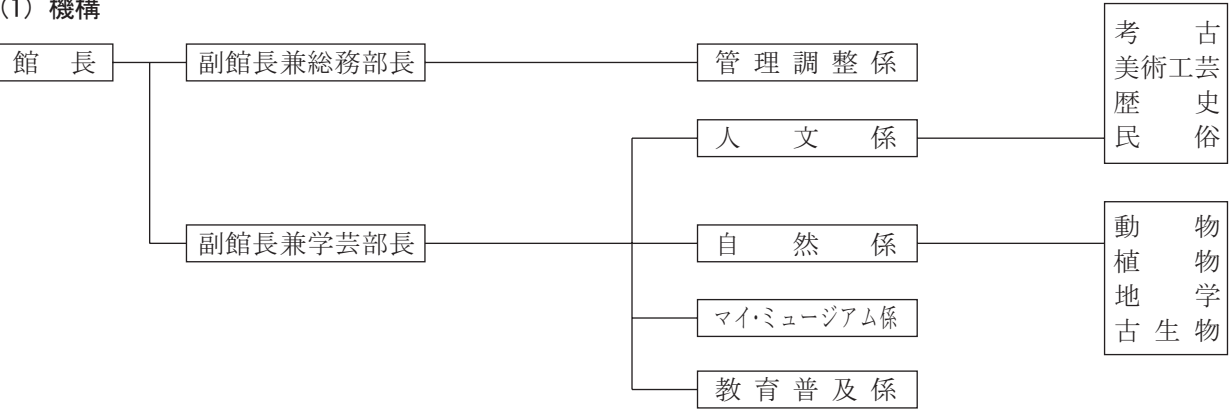
展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。自然展示室1では「郷土の自然とおいたち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示する。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
企画展 「岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界」	4/15（土） ～6/11（日）	錦絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色刷りの浮世絵木版画のことである。錦絵にはその当時の流行や世の中のあり様が描かれ、時には幕府への不満が風刺として表現された。岐阜県博物館では、1998年より錦絵の収集をはじめ今年で25年目を迎える。今回は、数多く収蔵された錦絵のうち、歴史や伝説で勇ましい活躍をする侍・武士に焦点を当てて紹介していく。
博物館・図書館連携企画展 「岐阜の城館探訪Ⅱ ー最近の調査結果からみた 岐阜の戦国ー」 (会場：岐阜県図書館)	4/22（土） ～6/18（日）	岐阜県下では、800ヶ所以上の中世城館・近世城郭遺跡が知られ、地域の歴史をあらわす遺跡として大切に保護されている。また、さらなる地域の歴史解明や地域のシンボルとして保存し活用することを目指し、現在も各地で調査研究が盛んにおこなわれている。今回は、特に国指定史跡を目指して調査研究が進められている城館跡を紹介し、戦国の岐阜の歴史解明の現在を知る機会としたい。
特別展 「岐阜の祭り みんなのこころ粹 ^{いき} 」	7/7（金） ～9/3（日）	日本には、多種多様の神社祭礼がある。ここ岐阜県も同様で、豊かな自然環境のもと、地域の生活や文化と深くかかわってきた「祭り」をとりあげた展示を開催する。岐阜県内の様々な地域における「祭り」を知ることで自分の住む地域以外の「祭り」への興味関心をもち、古くから伝承されている「祭り」への今後の参加、祭りを伝承しようとする思いを高めてもらいたい。
移動展 「絶滅から救え！ ぎふの鳥ライチョウ」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	7/15（土） ～10/1（日）	ライチョウは岐阜県の豊かな自然を象徴する鳥で、御嶽山及び乗鞍岳をはじめとする飛騨山脈などに生息している。現在、ライチョウは絶滅の危機にあり、さまざまな方法で保全活動が行われている。そのなかで、乗鞍岳に生息するライチョウが中央アルプスの個体群の復活に貢献するなど、重要な役割を果たしている。今回の展示では、岐阜県博物館が所蔵するライチョウに関わる資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介するとともに、ライチョウの保護活動への関心を高める機会とする。
特別展 「出かけよう！ 0→3,000mの旅 ー植物が彩る物語ー」	9/15（金） ～12/3（日）	岐阜県には、河口部の海拔0m地帯から、標高の高い山まであり、実にその標高差が3,000mを越えている。この標高差は全国でも珍しく、そこに住まう生物も多種多様である。このように標高差が大きい岐阜県では、海に接していなくとも動植物の種類が多く、他では見ることのできない貴重なものも見ることができる。本特別展では、海拔0mから標高3,000mまでの旅路を辿り、岐阜の豊かな自然が彩る物語を、植物を中心に紹介する。変化に富んだ自然の宝箱を開き、魅力ある自然と触れ合う旅に出かけよう。
博物館・岐阜大学・名古屋大学 博物館連携企画展 「おもしろい骨のはなし ーしらべる・つくる・のこすー」 (会場：岐阜大学図書館)	10/23（月） ～12/6（水）	現在、私たちヒトと同じ脊椎動物は約7万種が知られている。最初の脊椎動物は海で生まれ、顎を持たない魚のような形をした生物だった。その後、脊椎動物は、顎を獲得し、効率よく餌を取ることができるようになり、さらには四肢の進化にともない、陸上や空中へ進出した。今回の企画展では博物館や大学での骨に関わる研究や資料収集活動を紹介しながら、さまざまな動物の骨の標本を展示することで、動物の骨の形の不思議さや美しさを楽しみ、多様な生物の世界への関心を高める機会とする。
企画展 「美しき鉱物の世界」	1/20（土） ～3/17（日）	地球が誕生し46億年、大地には長い地球の営みで生み出された鉱物が至る所に眠っている。これらの鉱物は経済の発展に大きく貢献し、時には人の目を楽しませてきた。本企画展では地下に眠る貴重で魅力的な鉱物を紹介する。鉱物（岩石）には色彩が豊かなものや、結晶構造が綺麗なもの、鉱石（金属を得るために使われる鉱物・岩石）として使われているものなどがあり、展示を通して、地球を作る鉱物や、普段から身の回りで使われている金属がどのようなものから作られているかを知り、鉱物（岩石）への関心を高める機会とする。

展 示 名	期 間	展 示 内 容
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「野原櫻州の世界」	4/8 (土) ～ 5/14 (日)	郷土・揖斐川町が誇る画家・野原櫻州の作品を紹介します。揖斐川町に在住しながら、当時は櫻州の存在は知りませんでした。収集しようと思い立ち、一点一点と収集している内に20数年立ち多くの作品が収集できました。櫻州が見た景色が多く残るこの地に私も住み75歳になり、櫻州の素晴らしい才能がわかるような気がします。全国に通じる才能を持つ、野原櫻州の魅力をみなさまに末永く伝えていければと思います。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「あそび -楽しいひとときをデザインする-」	5/27 (土) ～ 7/2 (日)	「楽しいひとときをデザインする」をコンセプトに、「実は100種類以上もあるトランプの世界」「岐阜にズームイン!」「壬申の乱 のぞいてみよう!! 武将のステータス」と3つのテーマの展示会を開催します。各テーマについて、親しんでいただけるように体験コーナーや、ワークショップなど、ハンドメイドによる「あそび」をいくつかご用意しております。ご来場の皆様に楽しいひとときをお過ごしいただければと思います。他に、卒業生紹介として、現役で活躍しているマンガ家の紹介や卒業制作記念展の選抜展を同時開催します。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「あの頃夢中になった ヒーローヒロイン」	7/22 (土) ～ 9/3 (日)	あの頃夢中になったヒーローヒロインをテーマにキャンディ・キャンディの人形とスーパー戦隊シリーズのフィギュアを展示します。 亡き父に一体のキャンディ・キャンディのお人形を買ってもらい、その人形の神々しさに汚してはいけないモノと思い毎日飾って眺めました。お顔の表情の色付けを一体一体手作業で仕上げるため同じ人形でも微妙に表情が違い、ドレスのバリエーションも魅力です。30年かけ収集して、100体を超えました。当時は夕方の放送だったスーパー戦隊シリーズを、毎週テレビに釘付けで身振り手振り真似しながら最高のテンションで観ていました。年度ごとにヒーローが変わるたびに、毎年ロボットが増えていきました。遊ばなくなり、もったいないよねと父が営むお店に遊び心で並べていると、お客様に大好評。親子で収集し、気がつけば30年前のものまで揃ってしまいました。スーパー戦隊シリーズの1号ロボットを全て集めて展示させていただきます。それぞれの世代で夢中になった人形やフィギュアを懐かしみ親しんで頂けると嬉しいです。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「島田翠鳳の花鳥画展」	9/23 (土・祝) ～ 10/29 (日)	美濃市の出身、岐阜市に在住した日本画家・島田翠鳳は竹内栖鳳画伯を師と仰ぎ、翠鳳の雅号を受けて花鳥画を得意とした画家です。岐阜県内に現存する島田翠鳳の肉筆画は希少で、四条派の流れを汲む日本画家・島田翠鳳の花鳥画を知る好機として鑑賞していただければ幸いです。花鳥画展で、優しい目をしたユーモラスな狸の描写や、細かな筆使いの小鳥、蜜蜂たちのリアルな姿を見つけるなど、四季折々の掛け軸をご家族でお楽しみ下さい。父・翠鳳より画法を継承した長男・島田恒鳳の色紙も同時に展示いたします。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「一針一針願いを込めて 百徳きもの展」	11/11 (土) ～ 1/8 (月・祝)	金沢には江戸時代から伝わる百徳きものを作るという風習があり、生まれてくる子のために無事の成長を願い、一針一針縫い繋ぎ、きものにするという文化で、端布を近隣、縁者からもらい百枚集め、より多くの福を縫い入れて仕立てた物です。今で言う、ベビードレス・ベビーキルトに匹敵するのでしょうか。そして縫い物文化も時の流れと共に刻々と変化している中、私達は日本のパッチワークの原点が、ここに有ったことを忘れず針を進めて行くことでしょう。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「廃材がart に変わる 竹・木材の art ダンボール工作」	1/20 (土) ～ 3/10 (日)	使われなくなった竹や木、ダンボールを材料に、その持ち味を活かして、昆虫、動物、恐竜、乗り物など様々な形を造ります。作者それぞれ作風に違いはありますが、廃材を上手く活用して、面白い形にすると言うコンセプトは同じです。ダンボールを使って恐竜や怪獣、童話をテーマに頭に浮かんだものを制作するのは暮石樹。竹、木材を材料にリアルな昆虫、可愛い動物を制作するのは野倉光春。両者は、共に芸術は難しいものではなく、もっと身近な存在であることを知ってほしくて、楽しみながら日夜制作活動しています。

III 令和4年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名
館 長	森 島 勝 博	副館長兼学芸部長	山 田 昭 彦	[マイ・ミュージアム係]	
副館長兼総務部長	寺 嶋 祐 三			係 長	南 本 有 紀
【総 務 部】		【学 芸 部】		主 査	浅 野 伸 保
[管 理 調 整 係]		[人 文 係]		補 助 職 員	益 田 豊 子
課長補佐兼係長	堀 拓 嗣	係 長 (考 古)	近 藤 大 典		
課 長 補 佐	林 英 和	主 査 (民 俗)	長 野 宜 延	[教 育 普 及 係]	
主 査	古 田 里 香	〃 (美術工芸)	松 井 絵 里 子	課長補佐兼係長	則 竹 裕 嗣
主 事	松 島 史 弥	主 任 (歴 史)	安 藤 均	主 査	星 野 友 多
会計・人事労務業務専門職	小 野 真 紀			学芸業務専門職	橋 本 嘉 文
補 助 職 員	沢 智 美	[自 然 係]		〃	高 屋 由 子
		係 長 (動 物)	説 田 健 一	〃	武 藤 宏 美
		課長補佐 (植 物)	土 屋 寿 美	管理業務専門職	坪 井 田 麻 友
		主 任 (地 学)	熊 澤 忍	〃	長 藤 章
		主 事 (古生物)	高 津 翔 平	〃	加 藤 江 里 菜
				〃	福 島 美 紀
				〃	倉 橋 奈 美
				〃	鈴 木 奈 美

(3) 異動 (令和4年4月1日)

転 出 者	館 長	(副 島 雅 浩)	転 入 者	館 長	森 島 勝 博
(退 職 者)	課長補佐兼係長	大 野 英 悟		課長補佐兼係長	堀 拓 嗣
	〃	小 島 剛 太		主 査	古 田 里 香
	主 査	酒井田 恭 子		〃	松 井 絵 里 子
	〃	立 花 昭		〃	浅 野 伸 保
	主 任	加 賀 隆 志		〃	星 野 友 多

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏 名	現 職 名
有 賀 信 彦	中日新聞岐阜支社長
太 田 朋 代	岐阜県PTA連合会子育て委員
春日井 恵 子	大垣市立静里小学校校長
亀 谷 みゆき	朝日大学経営学部教授
河 井 洋 子	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属 桐が丘幼稚園長
幸 脇 晴 美	公募委員
清 水 啓 子	岐阜県博物館サポーター
杉 山 博 文	岐阜女子大学理事長
鈴 木 薫	NHK岐阜放送局長
須 山 知 香	岐阜大学教育学部准教授
高 木 俊 徳	岐阜新聞社取締役事業戦略局長
◎ 古 川 秀 昭	前岐阜県美術館長

◎会長 (令和5年1月1日現在 五十音順・敬称略)
任期は令和4年9月24日から令和6年9月23日

(開催状況)

月 日 令和4年12月15日(金)
場 所 岐阜県博物館 講堂

○次第

- (1) 岐阜県博物館の現状と実績について
- (2) 議題：これからの岐阜県博物館
—改正博物館法の成立を踏まえて—
- (3) その他(報告事項)：令和5年度の特別展・企画展計画について

○主な提案・意見

- ・オンラインの導入について、リアルを体験するための呼び水として推進することは正しい流れ。博物館として、魅力的な発信ができれば「博物館に行こう」といった流れをつくることができる。
- ・博物館の魅力度を向上させるために、タイトルや展示方法の工夫をさらに重ねてほしい。
- ・県内各地の魅力に光をあてつつ、岐阜のすばらしさを各地域の人々に伝えてほしい。
- ・博物館の学芸員が調査研究において、他の機関と連携し大きな成果をあげていることは、すごいこと。今回の博物館法の改正にも打ち出された方向に通じる。

3 日誌抄

4. 1 人事異動に伴う辞令交付
- 2 MMG展示「彩られた和傘の世界 梅村茂一展」(～5/15)
- 9 移動展「いつでも防災 次の“その時”に備えよう」(～6/5)
- 16 出張けんぱく教室「マーゴ 化石レプリカづくり」
- 23 岐阜大学連携企画展「蔵出し！骨のあるやつ」(前期～6/26、後期6/28～8/28)
- 23 博物館・図書館連携企画展「岐阜県博物館コレクションつながる、ひろがる錦絵展」(～5/22)
- 23 けんぱく教室「百年公園で春を見つけよう」
- 27 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「本巣市上保本郷遺跡の中世の出土品」(～8/10)
- 30 出張けんぱく教室「マーサ21 いろいろ・化石レプリカづくり」
5. 3 けんぱく教室「ニワトリの頭骨標本づくり」※中止
- 4 出張けんぱく教室「モレラ岐阜 むかしのおもちやづくり：ずぼんぼ」
- 5 けんぱく教室「恐竜を造ろう」
- 5 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
- 7 学芸員なう「あなたの知らない骨」(～7/10)
- 14 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ化石レプリカづくり
- 15 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ化石レプリカづくり
- 17 ミニ企画展「浅見化石会館のアンモナイト」(～10/1)
- 18 サテライト展示「マーゴ 出張！！蔵出し！骨のあるやつ」(～5/30)
- 26 出前講座「各務原西ライフデザインセンター 化石レプリカづくり」
- 29 学芸講座「キリンの首はなぜ長い？ 解剖からわかるキリンの進化」
6. 4 MMG展示「岐阜の虎画の伝統と歩み」(～7/3)
- 4 学芸講座「きのこの魅力」
- 5 けんぱく教室「どうぶつたんけんたい」
- 11 学芸講座(中継講演)「小惑星探査機はやぶさ2の冒険 世界初の挑戦とその成果」
- 12 特別ミニ展示「宇宙からのおくりもの」(～7/10)
- 15 ミニ企画展「鵜飼と漁」(～10/1)
- 18 出張けんぱく教室「カラフルタウン岐阜 空飛ぶ恐竜！？ずぼんぼ」
- 19 学芸講座「古文書に見える動物たち ライチョウ・ウナギ・ゾウ・トラ」
- 28 サテライト展示「モレラ岐阜 出張！！蔵出し！骨のあるやつ」(～8/22)
- 29 出前講座「安八町立結小学校 化石レプリカづくり」
7. 2 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 空飛ぶ恐竜！？ずぼんぼ」
- 3 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 空飛ぶ恐竜！？ずぼんぼ」
- 12 学芸員なう「宇宙からのおくりもの」(～9/30)
- 16 学芸講座「資料保存から見つめる地域の歴史文化：歴史文化のレスキュー」
- 17 けんぱく教室「手羽先で骨格標本づくり」
- 26 教員のための博物館の日(～7/29)
- 30 MMG展示「—そこには文化がありました— 漫画★アニメ 熱虫！夢虫！コレクション!!」(～9/4)
- 31 学芸講座「漂着したクジラからのメッセージ」
8. 6 学芸講座「恐竜の島「御所浦」、天草1億年の旅」
- 7 岐阜県博物館主催イベント「荘川化石フォーラム講演会の部」
- 7 出張けんぱく教室「荘川化石フォーラム 化石発掘体験の部」
- 7 出張けんぱく教室「荘川化石フォーラムワークショップ化石レプリカづくり体験 化石とり出し体験」
- 10 博物館中学・高校オンライン講座「めざせ！研究の☆(ほし) 技術を仕事にする方法」
- 11 サテライト展示「アクティブG 岐阜県博物館の恐竜コレクション」(～8/31)
- 11 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「東野遺跡出土の弥生時代の遺物」(～12/25)
- 12 小屋名精霊送り「チンチカカ」小屋名地区住民限定「博物館ご招待」(～8/14)
- 14 出張けんぱく教室「アクティブG 空飛ぶ恐竜！？ずぼんぼ」
- 17 博物館実習(～8/21)

- 23 出前講座「藍見公民館 化石レプリカづくり ずぼんぼづくり」
- 27 けんぱく教室「手羽先で骨格標本づくり」
9. 1 けんぱく・関市連携企画展示「60年ぶりの御開帳 日竜峯寺多宝塔」(～9/30)
- 2 MM棟ラウンジ展示「県建設研究センター 自然共生工法写真コンテスト」(～9/15)
- 16 特別展「発見！いにしへの岐阜 一弥生・古墳・古代」同時開催けんぱく・関市連携企画展示(～11/13)
- 18 けんぱく教室「モビールを作ろう」
- 19 台風接近による臨時休館
10. 1 MMG展示「ねお展：アジュール(自由領域)であり続ける地域のこれまで そしてこれから」(～10/30)
- 2 ミニ企画展「稲作とお米」(～3月下旬)
- 2 学芸員なう「県博・岐大連携展の紹介」(～2/12)
- 2 ミニ企画展「哺乳類の毛皮」(～11/30)
- 2 サテライト展示「マーサ 21 星のかけら」
- 2 出張けんぱく教室「マーサ 21 ジオード割と恐竜ずぼんぼ」
- 6 マーゴサテライト展示(～2023 年秋 予定)
- 9 特別展開連講演会「岐阜の古墳の始まりを求めて」
- 15 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
- 16 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
- 23 けんぱく教室「百年公園で秋を見つけよう」
- 28 博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜県の野生動物 身近で多様な「隣人」たち」(～12/9)
- 30 けんぱく教室「収蔵庫探検—自然史標本の役割を知る—」
11. 3 岐阜～ふるさとを学ぶ日(無料開放日)
- 6 特別展開連講演会「夕田墳墓群から考える美濃の古墳出現期の様相」
- 12 MMG展示「パッチワークキルト展—郷土愛を布に託して—」(～12/4)
- 19 出張けんぱく教室「ぎふサイエンスフェスティバル 2022 化石レプリカづくり」
- 23 けんぱく教室「恐竜を造ろう」
- 23 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
12. 1 ミニ企画コーナー「ゆく年、くる年！【植物編】」(～3/14)
- 3 クリスマスナイトミュージアム
- 7 出前講座「下呂市馬瀬小学校 化石レプリカづくり 化石とり出し体験」
- 9 特別展「パレオアート作品展 二人のパレオアーティスト」(～2/26)
- 12 恐竜のすず払い
- 13 出前講座「高山市立江名子小学校 化石レプリカづくり」
- 16 出前講座「山県市富岡公民館 化石とり出し体験」
- 17 MMG展示「土岐石 美の世界 樹木化石から色彩豊かな土岐石へ」(～1/22)
- 18 けんぱく教室「ジオード割り体験」
- 23 岐阜県博物館公式恐竜ARアプリ公開
- 27 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「岐阜市芥見町屋遺跡」(～4月末から5月中旬)
1. 7 博物館友の会企画「正月あそび」※中止
- 7 けんぱく教室「七草がゆを食べよう」※中止
- 9 けんぱく教室「和紙でミニランプをつくろう」
- 15 けんぱく教室「アンモナイトの苔テラリウムを造ろう」
- 15 学芸講座「美濃の仏像」
- 18 岐阜県博物館公式「恐竜VR体験」公開
- 29 けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」
2. 4 企画展「天下人 家康と美濃の諸将」(～3/19)
- 4 MMG展示「おひなさまのセカンドライフ 福よせ雛」(～3/19)
- 5 学芸講座「近代譜代大名論」
- 11 特別展開連講演会「海外の博物館のパレオアート」
- 11 刀剣鑑賞用アプリ「刀剣鑑賞自由自在」公開
- 14 学芸員なう「ダチョウ組の活動」(～4月下旬)
- 19 けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」
- 23 特別展開連講演会「古生物の復元画の世界」
3. 6 三重県総合博物館交流企画「織豊期の伊勢 一寺社から考える—」
- 15 ミニ企画コーナー「新収蔵資料紹介展」(～5月上旬)
- 19 けんぱく教室「春のチョウを見つけよう」
- 21 出張けんぱく教室「イオンモール土岐 はっぱでしおり！葉脈標本でつくろう」

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の催し物、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「いにしへの岐阜」・「パレオアート作品展」を行い、多くの方々に来館いただけた。

(1) 展示活動

特別展などの展示活動を P12 の表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、令和4・5年度の特別展などに関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査(モニタリング1000)、県内植物分布調査、令和4・5年度の特別展に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施するとともに、歴史、美術工芸資料を資料として加えた。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

平成28年度から続いている「教員のための博物館の日」は、本年度は7月26日(火)～7月29日(金)に4日間実施した。わくわく体験は新型コロナウイルスの感染状況に応じて定員数を調整しながら実施した。

団体等の利用では、来館する学校団体が少しずつ増え、生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。また、昨年度から積極的に実践してきたリモート授業は理科の「恐竜の話」が中心だったが、社会科の「大昔の人々の暮らし」をコンテンツとして増やし、博物館の学習プログラムの幅を広げた。

博物館サポーターの活動では、103名が登録し、活動内容にあわせて11の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
移動展 「いつでも防災 ～次の“その時”に備えよう～」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/9 (土) ～6/5 (日)	岐阜県には10枚以上の活断層、5つもの活火山があり、いつ災害が起きても不思議ではない。本企画展では、地震、火山噴火、大雨といった自然災害に焦点を当て、自然災害が発生する仕組みを解説しつつ、災害発生時にはどのようなことが起こるのか紹介した。また、家庭でできる減災のための取り組みや災害発生時のための備えについても展示、紹介していくことで、いざという時のためについて考える機会とした。	30,715
博物館・岐阜大学連携企画展 「蔵出し！骨のあるやつ」 (前期：頭骨 後期：骨格)	4/23 (土) ～8/28 (日)	現在、私たちヒトと同じ脊椎動物は約7万種が知られている。最初の脊椎動物は海で生まれ、顎を持たない魚のような形をした生物だった。その後、脊椎動物は、顎を獲得し、効率よく餌を取ることができるようになり、さらには四肢の進化にともない、陸上や空中へ進出した。本連携企画展では、これまでに岐阜県博物館と岐阜大学が収集した資料を中心に、脊椎動物の進化をたどり、いろいろな動物の骨をたっぷり紹介することで、骨の形の不思議さや美しさを楽しみながら、多様な生物の世界への関心を高める機会とした。	17,613
博物館・図書館連携企画展 「岐阜県博物館コレクション つながる ひろがる錦絵展」 (会場：岐阜県図書館)	4/23 (土) ～5/22 (日)	錦絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色摺の浮世絵木版画のことである。その用紙は大判がおよそ縦39×横26cmのサイズで、これを並べて大画面にした作品も存在している。大判を横に3枚並べた大判3枚続がよく知られ、連続させることによって、一層スケールの大きな作品となるよう構成されている。岐阜県博物館が所蔵する錦絵のうち、武者絵や役者絵、相撲絵、風景画、開化絵など多彩なジャンルによる大判続絵に焦点を当てて紹介した。	2,453
特別展 「発見！いにしへの岐阜 —弥生・古墳・古代—」	9/16 (金) ～11/13 (日)	開発や史跡整備に伴う数多くの発掘調査によって、県下においても重要な“発見”が相次いでいる。本特別展では、それらの中から弥生時代から古代の選りすぐりの“発見”を出土品によって紹介するとともに、調査・研究が大きく進んだ弥生時代末から古墳時代初めの墳墓・古墳にも特に注目し、あらためて岐阜の歴史に思いをはせる展覧会とした。	9,653
博物館・岐阜大学連携企画展 「岐阜県の野生動物 身近で多様な「隣人」たち」 (会場：岐阜大学図書館)	10/28 (金) ～12/9 (金)	岐阜県は自然豊かな地域であり、さまざまな調査・研究によって植物相や動物相が明らかにされているが、地域の生態系を構成する多様な小・中型哺乳類や、爬虫類、両生類のことはあまり知られていない。本展では、私たちの身の回りの哺乳類・爬虫類・両生類・十脚類に焦点を当て、岐阜県内の野外で確認された外来種を含む全種の写真および標本、およびそれらに関する調査・研究についての展示を行うことで、岐阜県の豊かで魅力的な自然を紹介した。	14,578
特別展 「パレオアート作品展 —二人のパレオアーティスト—」	12/9 (金) ～2/26 (日)	本特別展では、古生物の復元作品として、小田隆氏（画家・イラストレーター）の古生物復元画と、徳川広和氏（古生物復元模型作家）の古生物復元模型をそれぞれ作品展示した。これらの作品を通して、古生物の科学的な側面だけでなく、彼らの生き生きとした姿を感じるとともに、芸術作品（アート）としての技術や価値など多方面から楽しむ展示を開催した。	9,763
企画展 「天下人 家康と美濃の諸将」	2/4 (土) ～3/19 (日)	岐阜の地は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。慶長5年（1600）、岐阜城の戦いははじめ、東西両軍は美濃の各地でしのぎを削り、ついに関ヶ原の合戦で勝敗の帰趨を決した。一連の戦いの舞台となった美濃の勢力図は、家康主導のもとで大きく塗り替えられ、幕領や小藩領が混在するようになった。本展示では、家康との関わりが深い武将たちに焦点を当て、彼らゆかりの文化財の展示や城館の紹介を通じて、家康の時代を経て美濃の地がどのように変化していったのかを探った。	7,054
マイミュージアムギャラリー	(P20 参照)	「彩られた和傘の世界 —梅村茂一展—」をはじめ、7回の展示を実施した。	—

岐阜県博物館・岐阜大学連携企画展「蔵出し！骨のあるやつ」

1 開催期間

令和4年4月23日（土）～8月28日（日）

2 主催、共催、後援、協力

主催：岐阜県博物館 共催：岐阜大学

後援：岐阜県教育委員会

協力：岐阜大学図書館学術アーカイブズ企画運営室

3 趣旨

現在、私たちヒトと同じ脊椎動物は約7万種が知られている。最初の脊椎動物は海で生まれ、顎を持たない魚のような形をした生物であった。その後、脊椎動物は、顎を獲得し、効率よく餌を取ることができるようになり、さらには四肢の進化にともない、陸上や空中へ進出した。

今回の企画展では、これまでに岐阜県博物館と岐阜大学が収集した資料を中心に、脊椎動物の進化をたどり、いろいろな動物の骨をたっぷり紹介することで、骨の形の不思議さや美しさを楽しみながら、多様な生物の世界への関心を高める機会とする。

4 展示構成

【前期】頭骨（令和4年4月23日～6月26日）

(1) 頭骨とは何か

(2) 哺乳類の頭骨

①肉を食べる、②草を食べる、③なんでも食べる、
④魚やイカを食べる、⑤虫を食べる、⑥家畜とペット

(3) 鳥類の頭骨

①魚やカエルを食べる、②ネズミや鳥を食べる、
③昆虫を食べる、④植物を食べる、⑤小さな餌を
ろ過して食べる

(4) 爬虫類の頭骨

(5) 両生類の頭骨

(6) 魚類の頭骨

(7) 触察コーナー

【後期】骨格（令和4年6月28日～8月28日）

(1) 魚類の骨格

①顎のない魚、②サメのなかま、③多様な硬骨魚類

(2) 両生類の骨格

①オオサンショウウオ、②アシナシイモリ、③カエル

(3) 爬虫類の骨格

①トカゲやヘビ、②箱の中の骨

(4) 哺乳類の骨格

①逃げるための足、②追うための足、③登るための足、④掘るための足、⑤泳ぐための足、⑥空を飛ぶための足

(5) 鳥類の骨格

①歩く鳥・飛ばない鳥、②木に止まるための足、
③繁栄するスズメ目、④鋭いくちばしと足、⑤滑空する海鳥、⑥水辺を歩く鳥、⑦泳ぐ鳥・潜る鳥

(6) 骨の楽しみ方

①標本のつくりかた（食卓編）、②海岸で骨を拾う、
③ダチョウ組の活動

(7) 触察コーナー

5 関連事業

(1) 博物館学芸講座

「キリンの首はなぜ長い？ー解剖からわかるキリンの進化ー」

講師：郡司芽久（東洋大学生命科学部 助教）

日時 5月29日（日）（13:30～15:00）

会場 けんぱくホール

(2) 企画展関連講演会

「漂着したクジラからのメッセージ」

講師：田島木綿子（国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ 研究主幹）

日時 7月31日（日）（13:30～15:00）

会場 けんぱくホール

(3) けんぱく教室「ニワトリの頭骨標本づくり」

講師：当館学芸員

日時 5月3日（火・祝）（10:00～15:00）

会場 講堂

（＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止）

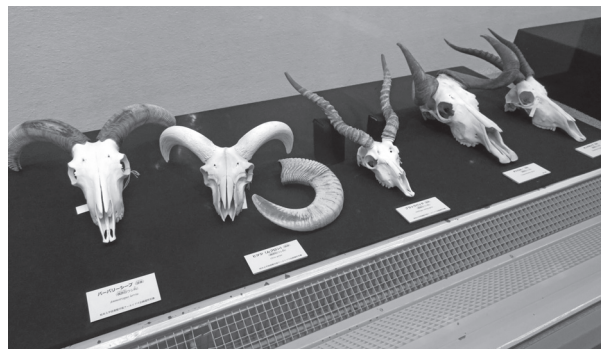
(4) けんぱく教室「手羽先で骨格標本づくり」

講師：当館学芸員

日時 7月17日（日）、8月27日（土）

（10:00～15:00）

会場 講堂



展示会場のようす

特別展 発見！いにしへの岐阜 —弥生・古墳・古代—

1 開催期間

期間：令和4年9月16日（金）～11月13日（日）

2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館、岐阜新聞社・岐阜放送

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

3 趣旨

1960年代以降、全国的に開発や史跡整備に伴う発掘調査が数多く実施され、膨大な考古学的成果が蓄積されてきた。岐阜県下においても重要な“発見”が相次ぎ、それらは今から50年前に刊行された『岐阜県史 通史編 原始』（以下、『県史』と略称する。）の記述と合わせてみることで、その重要性がより鮮明となる。

本特別展では、それらの中から選りすぐりの“発見”を出土品によって紹介するとともに、『県史』以降に研究が大きく進んだ弥生時代末から古墳時代初めの墳墓・古墳にも特に注目し、あらためて岐阜の歴史に思いをはせる展覧会とした。

4 展示構成

第1章 岐阜県最古の古墳を求めて

『県史』において「岐阜県におけるもっとも古い古墳」は、円満寺山1号古墳（海津市）であった。しかし、現在ではそれより古い古墳がいくつも見つかるとともに、古墳とは何か、いつ、どのように発生したのかという根本的な問題に迫る発見がなされている。ここでは岐阜県最古の古墳を求めて、弥生時代終わりから古墳時代初めの墳墓を出土品とともに紹介した。

【主な展示遺跡】

円満寺山1号古墳（海津市） 象鼻山古墳群（養老町） 東町田墳墓群（大垣市） 美濃観音寺山古墳（美濃市） 加佐見山1号墳（各務原市） 上磯古墳群（大野町） 伊瀬栗地遺跡（美濃加茂市） 夕田墳墓群（富加町） 上野桐野1号弥生墳丘墓（可児市） など

第2章 “発見”をふりかえる —弥生・古墳—

弥生時代・古墳時代の集落・水田、墓・古墳の分野における“発見”や、『県史』の内容をより充実させた発掘調査成果を紹介した。

また、弥生時代の青銅器、古墳時代の木製品を小特集した。

【主な展示遺跡】

（集落・水田）寺田遺跡（岐阜市） 荒尾南遺跡（大

垣市） 宮塚遺跡（各務原市） 砂行遺跡（関市） 柿田遺跡（可児市） ウバガ平遺跡（高山市） 今宿遺跡（大垣市） など

〈墓・古墳〉はいづめ遺跡（揖斐川町） ツルネ遺跡（高山市） 坊の塚古墳（各務原市） 前波古墳群（可児市） 船来山古墳群（本巣市） など
〈小特集（銅製品・木製品）〉久々利銅鐸（可児市） 宇田遺跡（岐阜市） 顔戸南遺跡（御嵩町） など

第3章 “発見”をふりかえる —古代—

（けんぱく・関市連携企画展示）

律令国家が成立する飛鳥・奈良時代を代表する遺跡として、国史跡・弥勒寺官衙遺跡群（関市）を紹介した。なお、当該部分は、関市の協力を得て、けんぱく・関市連携企画展示とした。

また、小特集として壬申の乱を取り上げた。



展示室の様子

5 関連事業

(1) 講演会「濃尾平野の古墳の始まりを求めて」

講師 赤塚 次郎（NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長）

日時 10月9日（日）（13：30～15：00）

(2) 講演会（博物館学芸講座）「夕田墳墓群から考える美濃の古墳出現期の様相」

講師 島田 崇正（富加町教育委員会文化財専門官）

日時 11月6日（日）（13：30～15：00）

特別展 パレオアート作品展 —二人のパレオアーティスト—

1 開催期間

令和4年12月9日(金)～令和5年2月26日(日)

2 主催、共催、協力

主催：岐阜県博物館、中日新聞社

後援：NHK 岐阜放送局、岐阜県教育委員会

協力：小田隆(STUDIO D'ARTE CORVO)、徳川広和(株式会社 ActoW)、三重県総合博物館、丹波市立丹波竜化石工房「ちーたんの館」

3 趣旨

地質時代に生息していた生物を古生物と呼ぶ。古生物の存在は、通常、見つかった化石を通してのみ知ることができるため、その生きた姿を見ることはできない。一方で、遠い昔よりその原始的な姿をほとんど変えることなく今も生き続けている種もわずかながら存在し、生きている化石とも呼ばれている。これら化石種や現生種などをもとに古生物の生きていた姿を再現することを古生物の復元と言う。古生物の復元は、化石として残された貝殻や骨、歯などの硬組織や、皮膚や羽毛などの軟組織、それらから推測される生態学的な特徴に加え、現生種との比較など、最新の研究成果や科学的根拠をもとに行われる。

本特別展では、古生物の復元作品として、小田隆氏(画家・イラストレーター)の古生物復元画と、徳川広和氏(古生物復元模型作家)の古生物復元模型をそれぞれ作品展示した。これらの作品を通して、古生物の科学的な側面だけでなく、彼らの生き生きとした姿を感じるとともに、芸術作品(アート)としての技術や価値など多方面から展示を楽しんでいただいた。

4 展示構成

(1) プロローグ：化石とパレオアート

化石とパレオアートの関係性について紹介した。

【主な展示物】

生きている化石(カブトガニ化石とイチョウの化石)、羽毛恐竜(シノサウロプテリクス：群馬県立自然史博物館所蔵)、恐竜の復元画(画：小田隆)など

(2) 第一章：二人のパレオアーティスト

古生物の復元画と復元模型を制作した二人のパレオアーティストについて紹介した。

【主な展示物】

小田隆氏の関連グッズ・作品、徳川広和氏の関連グッズ・作品

(3) 第二章：古生物の復元画

小田隆氏制作の古生物の復元画を作品展示した。

【主な展示物】

恐竜・古生物のラフ画(小田隆氏所蔵)、恐竜・古生物の亚克力原画(三重県総合博物館所蔵)、恐竜・古生物のペン画や大型絵画(岐阜県博物館所蔵)ほか

(4) 第三章：古生物の復元模型

徳川広和氏制作の古生物の復元模型を作品展示した。

【主な展示物】

恐竜・古生物の復元模型(徳川広和氏所蔵)ほか、他館が所蔵する徳川広和氏制作の復元模型の写真展示(丹波市立丹波竜化石工房「ちーたんの館」)

(5) エピローグ：最新恐竜復元模型

徳川広和氏制作の最新恐竜復元模型を展示した。

【主な展示物】

トロオドン科恐竜の復元模型(岐阜県博物館所蔵)

5 関連事業

(1) 講演会「海外の博物館のパレオアート」

日時：2月11日(土・祝) 13:30～15:00

講師：徳川広和(古生物復元模型作家)

(2) 講演会「古生物の復元画の世界」

日時：2月23日(木・祝) 13:30～15:00

講師：小田隆(京都精華大学・教授)

(3) けんぱく教室「ジオード割り体験」

日時：12月18日(日) 13:00～15:00

講師：当館学芸員

(4) けんぱく教室「アンモナイトの苔テラリウムを作ろう」

日時：1月15日(日) 13:00～15:00

講師：当館学芸員

(5) けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」

日時：1月29日(日)・2月19日(日)

各 13:00～15:00

講師：当館学芸員



会場式の様子

企画展 天下人 家康と美濃の諸将

1 開催期間

期間：令和5年2月4日（土）～3月19日（日）

2 主催

主催：岐阜県博物館

3 趣旨

岐阜の地は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。慶長5年（1600）、東西両軍は岐阜城の戦いをはじめ美濃の各地でしのぎを削り、ついに関ヶ原の合戦で勝敗の帰趨を決した。一連の戦いの舞台となった美濃の勢力図は、家康主導のもとで大きく塗り替えられ、小藩領・旗本領・幕領が混在するようになった。

本展示では、家康との関わりが深い諸将に焦点を当て、彼らゆかりの文化財の展示や城館の紹介を通じて、家康の時代を経て美濃の地がどのように変化していったのかを探る。

4 展示構成

第一章 関ヶ原合戦と美濃の領主たち

関ヶ原合戦にいたるまで美濃では各地で激戦が繰り広げられたが、当時の美濃の中心的な大名であった織田秀信が西軍に味方することを表明すると、美濃の多くの領主が西軍に与した。しかしその中で様々な理由によって東軍に与する領主たちがいたことは東軍勝利の一因となったといえる。ここでは、所領を安堵されたり、新たに与えられたりしたこれらの領主を中心に資料を通じて紹介した。

【展示資料】

織田秀信書状（太陽コレクション） 岐阜城跡出土品（岐阜市） 関ヶ原合戦絵巻（太陽コレクション） 竹中重門・加藤貞泰宛徳川家康書状（関ヶ原町歴史民俗学習館） 小西行長召捕徳川家康感状（同） 慶長元和文書（同） 徳川家康書状（個人・岐阜県歴史資料館寄託） 大久保長安知行書立写（同） 徳川家康書状（同） 徳川秀忠書状（同） 土俵空穂（当館） 黒野城跡出土品（岐阜市） 濃州黒野古城図（岐阜県図書館） 加藤清正書状（当館） 大島雲八知行目録写（龍福寺） 徳川秀忠御内書 九月五日（東京大学史料編纂所） 長谷川守知宛徳川秀忠領地朱印状（同） 徳川秀忠書状（中津川市苗木遠山史料館） 遠山友政書状（同）

第二章 家康と加納藩奥平家

美濃の諸将のなかでも、家康と関わりが深かったのが、三河時代に長女亀姫の婿となった奥平信

昌であった。信昌は家康の配下で活躍し、三河新城・上野小幡を経て関ヶ原合戦の翌年に初代加納藩主となった。ここでは関ヶ原合戦以降の加納藩奥平家の動向を紹介した。

【展示資料】

関原始末記 下（国立公文書館） 譜牒余録 卷二十七・三十一（同） 時慶卿記（同） 当代記（同） 御三階野絵図集ノ平（片野記念館） 加納城跡出土品（岐阜市） 上加納村夏成督促状（東京大学史料編纂所） 奥平信昌画像（同） 徳川亀姫盛徳院〔後称加納姫〕画像（同）

第三章 幕領美濃と代官

美濃のうち75000石余は幕府の直轄領として、代官による統治を進められた。江戸時代初期においてその中心となったのが大久保長安・岡田善同であった。ここではこの二人の代官に関する史料を通じて幕領としての美濃に迫った。

【展示資料】

岐阜県重要文化財 慶長時代古文書（個人） 大久保石見守検地水帳残缺（東京大学史料編纂所） 濃州可児郡帷子郷石原村御縄打水帳（同） 大久保長安蜂屋柿献上申付状（瑞林寺） 今藤伝内・蜂屋年寄中連署状（同） 岡田将監先祖書（東京大学史料編纂所・揖斐川歴史民俗資料館） 揖斐川町指定文化財 岡田三代の真筆（揖斐川歴史民俗資料館） 岡田将監書状（可児市） 可児市指定重要文化財 岡田将監屋敷跡出土品（同）

【その他展示資料】

徳川二十将図（太陽コレクション） 徳川家康日課念仏（同）



展示室の様子

5 関連事業

講演会（博物館学芸講座）「近世譜代大名論」

講師 三宅 正浩（京都大学 准教授）

日時 2月5日（日）（13：30～15：00）

移動展 いつでも防災～次の“その時”に備えよう～

1 開催期間、会場

期間：令和4年4月9日（土）～6月5日（日）
会場：飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室
〒506-0844 高山市上一之町 75 番地

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館
共催：高山市教育委員会
後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨など、大雨による災害が深刻化してきている。また、岐阜県には10枚以上の活断層、5つもの活火山があり、いつ災害が起きても不思議ではない。

本移動展では、地震、火山噴火、大雨といった自然災害に焦点を当て、自然災害が発生する仕組みを解説しつつ、災害発生時に起こりうることを紹介した。

さらに、家庭でできる減災の取り組みや災害発生時の備えについても展示、紹介することで、次の“その時”を考えていただく機会とした。

4 展示構成

第1章 大雨による災害

雨の降り方や観測技術、岐阜県で発生した豪雨災害などを紹介した。

【主な展示資料】

雨量計（岐阜地方气象台）、平成30年7月豪雨の様子（動画）、防災気象情報と警戒レベル、豪雨災害時における避難の格好など



第1章 展示風景

第2章 火山噴火による災害

火山噴火の仕組みや2014年に噴火した御嶽山の様子、火山噴火への備え（活火山登山時の装備）などを紹介した。

【主な展示資料】

火山噴出物（スコリア・紡錘状火山弾・火山灰・軽石）（岐阜県博物館）、御嶽山2014年噴

火の噴石（岐阜県博物館）、御嶽山2014年噴火前後の山小屋の様子（長野県王滝村）、活火山登山時の装備（ヘルメット・ヘッドライトなど）など

第3章 地震による災害

地震の発生原理や観測機器、濃尾地震などについて紹介した。

【主な展示資料】

地震計（ボアホール観測機器・速度型地震計など）（岐阜県博物館）、錦絵（三代歌川国輝「明治廿四年十月廿八日大地震後図」、三代歌川国貞「愛知県岐阜県震災義援金一覧表」）（岐阜県博物館）、義援金領収書（飛騨高山まちの博物館）など



第3章 展示風景

第4章 ～もしもに備える～

家庭でできる減災を紹介するとともに、防災グッズ（非常持ち出し袋）や大人一人に対する3日分の食料などを紹介した。

【主な展示資料】

転倒防止器具（せき防災の会）、持ち出し袋の中身の例（清流の国ぎふ 女性防災士会）、備蓄品（大人一人当たりの3日分の食料など）など



第4章 展示風景

博物館・岐阜県歴史資料館・岐阜県図書館連携企画展 「岐阜県博物館コレクション つながる、ひろがる錦絵展」

1 開催期間

令和4年4月23日（土）～5月22日（日）

2 主催

主催：岐阜県博物館・岐阜県図書館

3 趣旨

錦絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色摺の浮世絵木版画である。鈴木春信らによって確立され、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳、月岡芳年を初めとする多くの浮世絵師が、様々な作品を世に残した。

岐阜県博物館が所蔵する錦絵のうち、武者絵や芝居絵、相撲絵、風景画、開化絵など多彩なジャンルによる大判続絵に焦点を当て紹介した。

4 展示構成

岐阜県博物館で収蔵している錦絵全239点のうち、武者絵、芝居絵、歴史画、相撲絵、風景画、開化絵、戯画と様々なジャンルの錦絵28点紹介した。

【展示資料】

- 歌川芳員『頼光山中二妖怪を見る図』（武者絵）
- 歌川国芳『源三位頼政鶴退治』（武者絵）
- 歌川貞秀『宇治川先陣争図』（武者絵）
- 歌川芳員『京都四條縄手合戦』（武者絵）
- 歌川国芳『大多春永の城塀修復』（武者絵）
- 歌川国芳『稲葉山山中において荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとり臣下とす』（武者絵）
- 楊斎延一・延重『真書太閤記本能寺焼討之図』（武者絵）
- 月岡芳年『太功記之内 高松水攻』（武者絵）
- 歌川貞秀『太平記之内山崎合戦軍議齋堂熊之輔其主武智於諫言図』（武者絵）
- 豊原国周『太功記十段目尼崎の場』（武者絵・芝居絵）
- 歌川国綱『朝鮮出兵図』（武者絵）
- 歌川豊宣『板垣君遭難の図』（歴史画）
- 三代歌川豊国『鬼面山と不知火の取組』（相撲絵）
- 三代歌川豊国『大角力両国橋渡図』（相撲絵）
- 三代歌川豊国『白真弓肥太右衛門』（相撲絵）
- 三代歌川豊国『蓮生問答』（芝居絵）
- 三代歌川豊国『熊坂長範と牛若丸』（芝居絵）
- 歌川国芳『玉屋与次 女房おらち 女之助』（芝居絵）
- 豊原周義『塩冶判官 大星由良之助』（芝居絵）
- 歌川豊宣『石川五右衛門 忤五郎市 岩木兵部』（芝居絵）
- 三代歌川豊国『不破伴左衛門 かつらき太夫 名

古屋山三』（芝居絵）

歌川芳虎『東海道名所図会』（風景画）

月岡芳年『東海道名所図会』（部分）（風景画）

歌川国貞『東京銀座煉瓦石繁栄之図新橋鉄道蒸気汽車之図』（開化絵）

三代歌川国貞『風船乗評判高閣』（開化絵・芝居絵）

月岡芳年『和漢獣物大合戦之図』（戯画）

落合芳幾『猿蟹敵討之図』（戯画）



展示の様子

5 関連行事

(1) 連携周遊企画

令和4年4月23日（土）～5月29日（日）の期間で行われた岐阜関ヶ原古戦場記念館の春季企画展「錦絵にみる関ヶ原合戦の武将たち」との連携周遊企画を実施した。会期中に、岐阜県図書館で発行された観覧証明書と岐阜関ヶ原古戦場記念館のチケットを持参した観覧者にオリジナルグッズ（博物館オリジナル絵葉書）をプレゼントした。



オリジナル絵葉書（1）



オリジナル絵葉書（2）

岐阜県博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜県の野生動物：身近で多様な「隣人」たち」

1 開催期間

令和4年10月28日（金）～12月9日（金）

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜大学

協力：岐阜大学図書館学術アーカイブズ企画運営室

3 趣旨

標高0mから3000mまで、県土の約80%を占める広大な森林と、多数の川に恵まれた岐阜県は自然豊かな地域であり、さまざまな調査・研究によって植物相や動物相が明らかにされている。しかし、身近な野生動物については、特産品である淡水魚のアユや、獣害を引き起こすイノシシ、ニホンジカなどへの関心は高いものの、地域の生態系を構成する多様な小・中型哺乳類や、爬虫類、両生類、あるいはエビやカニなどの小動物のことはあまり知られていない。

そこで今回は、私たちの身の回りの「動物」、特に哺乳類・爬虫類・両生類・十脚類に焦点を当て、岐阜県内の野外で確認された外来種を含む全112種の写真、標本、およびそれらに関する調査・研究についての展示を行う。岐阜大学シンポジウムと県博物館との連携企画展とすることで岐阜県の自然の特色と現状、外来種の問題などについて市民に広く知ってもらい、地域の自然を理解した上でのまちづくりや、生物多様性の保全に貢献することを目的とする。

4 展示構成

- (1) 岐阜県の哺乳類
- (2) 岐阜県のカメ類
- (3) 岐阜県のヘビ・トカゲ類
- (4) 岐阜県のカエル
- (5) 岐阜県のサンショウウオ
- (6) 岐阜県のエビ・カニ類

5 関連事業

(1) 第39回岐阜シンポジウム

岐阜県の野生動物：身近で多様な「隣人」たち
～その魅力、保全、自然と共生した地域づくり～

開催日時：11月3日（木・祝）13:00～16:00

会場：岐阜大学講堂



展示会場のようす①



展示会場のようす②



展示会場のようす③

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	彩られた和傘の世界 梅村茂一展 出展者 梅村 茂一 令和4年4月2日(土) ～5月15日(日) 観覧者数: 3,371人	梅村氏が岐阜の伝統工芸品「岐阜和傘」に絵付けしたアート和傘は世界に一本だけの創作絵付け和傘。使用している番傘と蛇の目傘は男傘と女傘。「生きとし生けるものの鼓動」と「四季折々の花を愛でる」がコンセプトである。ジャパニーズモダンとしてキリッとした日本の「粋」を発信した。 梅村氏の個性と作品への熱い思いが込められた一点物の絵付け和傘が、41作品展示された。	
2	岐阜の虎画の伝統と歩み 出展者 野村 玉蕉 高松 邦仙 令和4年6月4日(土) ～7月3日(日) 観覧者数: 1,907人	岐阜の虎画の始祖大橋翠石は渡辺小華に学び、明治33年パリ万博で金牌を受賞し、一躍動物画家として名を馳せるようになった。翠石出現後岐阜一帯では虎画を描く画家が多く生まれ、中でも玉置頼石は翠石に礼接し、研鑽に励み多くの門弟を導き一家を成して日本動物画協会を主宰した。 門弟の佐久間頼峰、森田玉仙らの死後、野村氏、高松氏が師頼石の遺鉢を継ぎ、その作品群が展示された。	
3	—そこには文化がありました— 漫画★アニメ 熱虫!夢虫!コレクション!! 出展者 林 真司 令和4年7月30日(土) ～9月4日(日) 観覧者数: 5,469人	林氏が成年後、子供のころに親しんでいた手塚治虫作の「鉄腕アトム」の本が押し入れから偶然出てきた。懐かしさと感動でいろんな想いが蘇り、その作品の多さと絵のタッチに魅了され、いつしかグッズの収集に引き込まれていった。鉄腕アトム、ジャングル大帝、リボンの騎士、火の鳥、ブラックジャックなどの虫プロ時代の本、文房具、日用品、服やゲームなど約2500点が展示された。	
4	自由領域 ねお展: アジールであり続ける 地域のこれまでそしてこれから 出展者 IAMAS-CRR+よだか総合研究所 令和4年10月1日(土) ～10月30日(日) 観覧者数: 3,224人	IAMAS-CRR及びよだか総合研究所は、限界集落化が進む根尾地区において、7年間調査・研究してきた。有史以来、存在し続けている根尾地区は、さまざまな人たちにとって自由な領域、つまり「アジール」であり続けてきた。時代の変化でどのように存在し続けてきたのか、調査・研究を通じて得た資料や、根尾地区伝統行事である「能郷の能・狂言」や「根尾盆踊り」の写真・映像を交えて紹介・展示された。	
5	パッチワークキルト展 —郷土愛を布に託して— 出展者 ふれあい開教室代表 土屋 久代 令和4年11月12日(土) ～12月4日(日) 観覧者数: 3,610人	土屋氏がパッチワークキルトに出合ったのは35年前。その時の感動が、今でも制作を続ける原動力となっている。糸で布と布をつなぐ作品は心を豊かにしてくれ、それと同時に人との繋がりを深めてくれた。パッチワークキルトがもたらした縁のある生徒さん達と共に、独自のデザイン、色彩で仕上げてられ、白川郷や刀鍛冶など郷土愛を布に託した数々の作品が展示された。	
6	土岐石 美の世界 樹木化石から色彩豊かな土岐石へ 出展者 柳川 桂一 令和4年12月17日(土) ～令和5年1月22日(日) 観覧者数: 3,148人	土岐石とは、岐阜県の東農地方に産出する太古の木の化石で限られた地層、土岐砂礫層の中にのみ見付けることができる貴重な石である。色合いの美しさ、種類の豊富な事に魅力があり、多様な色が様々な想像力を掻き立ててくれる。 柳川氏所有の土岐石約300点を展示し、木から化石、化石から色彩豊かな石へと変化した不思議な石の魅力が紹介された。	
7	おひなさまのセカンドライフ 福よせ雛 出展者 みたまち 御嵩町福よせ雛実行委員会 令和5年2月4日(土) ～3月19日(日) 観覧者数: 5,747人	「福よせ雛」は現代の諸事情によりご家庭で飾ることができなくなったお雛様や、まだ美しいまま「やむをえず手放さなければならないお雛様をもう一度何かの役に立ててあげたい」という持ち主様の思いを受けて発案された。みたまち 御嵩町福よせ雛実行委員会により、お雛様たちはみんなに「笑顔と福」を呼ぶ「福よせ雛」へと生まれ変わり展示された。	

2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物や展示解説を行った。

(1) 第4回展示

自由領域
「ねお展：アジールであり続ける地域のこれまで
そしてこれから」

・根尾盆踊り披露

日時：令和4年10月15日（土）

13:30～14:00

講師：IAMASRSS-CRR・根尾盆踊り保存会

会場：百年公園オータムフェスティバルステージ会場



(2) 第6回展示

「土岐石 美の世界 樹木化石から色彩豊かな土岐石へ」

・ギャラリートーク「土岐石・珪化木をさわってみよう」

日時：令和4年12月17日（土）

13:30～15:00

講師：柳川 桂一

会場：マイミュージアムギャラリー内



(3) 展示解説

各展示において、出展者が定期的に在廊し、観覧者に展示解説を行った。



6 調査研究活動

〔調査研究〕

(1) 人文部門

①考古分野

ア 展示にかかわる調査研究

令和4年度特別展「発見！ いにしへの岐阜」及び令和5年度図書館連携企画展（考古分野）の開催に向け、調査研究を行った。

特別展に向けては、弥生時代から古代にかけての県内の主な発掘調査成果について資料調査等を行った。

図書館連携企画展に向けては、近年の発掘調査成果や『岐阜県中世城館跡総合調査報告書』の精査等を行い、展示テーマ及び構成の検討を行った。

②歴史分野

ア 企画展等にかかわる調査研究

令和4年度企画展「天下人 家康と美濃の諸将」の開催に向け、調査研究を行い、その成果を図録や展示パネルなどとして示した。

翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

イ 常設展にかかわる調査研究

企画展開催期間中に適宜展示替えを行い、企画展テーマにも関連する館蔵資料の展示・紹介を行った。

③民俗分野

ア 特別展にかかわる調査研究

令和5年度特別展「岐阜の祭り」の準備

岐阜県における祭りに関する展示の企画立案を行い、令和5年7月の展示に向けて、各地で出品交渉を行う等、調査を進めている。

令和5年1月時点で、70点以上の資料の出品が確定している。

イ 常設展示にかかわる調査研究

昭和の居間ジオラマにつき季節ごとの展示替えを行うとともに、以下の通り各コーナーでミニ企画展示を実施した。

(1) 昭和の居間コーナー

第1期(夏)：令和4年 6月 1日(火)～ 9月30日(木)

第2期(秋)：令和4年10月 1日(金)～11月14日(金)

第3期(冬)：令和4年11月15日(火)～

令和5年 2月24日(金)

(2) 昭和の居間前のケース

「岐阜県の漁法、漁具」・「雑誌の伝える昭和の災害」

「わら細工」・「和傘のできるまで」

(3) 人文展示室前ロビー

「鵜飼の道具」・「和傘、提灯」「農業、稲作」

ウ 旧徳山村民家（旧宮川家住宅）整備

登録有形文化財（建造物）・旧宮川家住宅主屋について、国庫補助を活用し、令和元年度より整備事業を実施している。今年度は、作成済の設計書に基づく、耐震補強工事の施工を行っている。また、来年度実施予定の防犯カメラや消火栓設備の設置工事のための設計書を作成した。ともに大規模な工事となるため、大変な準備を要したが、実施に向けて調整をしながら、実行した。

④美術工芸分野

ア 連携展、常設展にかかわる調査研究

(1) 博物館・図書館連携企画展「岐阜県博物館コレクション つながる・ひろがる錦絵展」(2022/4/23-5/22)

岐阜県博物館で収蔵している錦絵全239点のうち、武者絵、芝居絵、歴史画、相撲絵、風景画、開化絵、戯画と様々なジャンルの錦絵28点紹介した。

(2) けんぱく・関市連携企画展示「60年ぶりの御開帳 日竜峯寺多宝塔」(2022/9/1-9/30)

関市下之保にある日竜峯寺多宝塔の特別公開を受け、岐阜県博物館人文展示室内に「日竜峯寺多宝塔大日如来像（複製）」ならびに、「重要文化財日竜峯寺多宝塔壁画彩色模写」の写真パネルの展示を行った。

イ 企画展等にかかわる研究調査

令和5年度企画展「岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界」の準備

錦絵の収集を始めて令和5年度で25年目を迎える。博物館が所蔵する錦絵の展示の企画立案を行い、調査を進めている。

(2) 自然部門

①動物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生息する動物の生態について

(イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物学標本商について

イ 原著論文等

説田健一，2022，Case3 岐阜県博物館 博物館サポーターによる資料整理，金山喜昭編，博物館とコレクション管理ーポスト・コロナ時代の資料の保管と活用ー，雄山閣，東京，148-155.

説田健一，2023，岐阜北高等学校で見つかったシマクイナ *Coturnicops exquisitus* の剥製について，岐阜県博物館研究報告 43，1-5.

楠田哲士・橋爪涼子・川村きこ・大野倫太郎・野間明加里・大西健夫・説田健一，2023，岐阜県内でのカミツキガメおよびワニガメ属の捕獲記録Ⅱ(2019～2022年)，岐阜県博物館研究報告 43，6-12.

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組（動物標本作製サークル）、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト1000 里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

エ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会（ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査。岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO 法人ふるさと自然再生研究会と共同）

②植物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
(イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
(ウ) 所蔵標本データの活用方法の開発

イ 原著論文等

土屋寿美, 2023, 博物館を活用した教員のための研修— 学校教育につながる博物館での研修の意義及び有用性 —. 岐阜県博物館研究報告 43, 13–18.

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査
(イ) 標本整理及び展示資料作成
(ウ) タンポポ調査西日本 2020 に関わる調査活動及び結果分析

エ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会（岐阜県植物誌編纂関係調査、環境省レッドデータ調査）
(イ) 岐阜県植物研究会（岐阜県内の植物の調査）
(ウ) 岐阜県教育委員会（教師のための研修講座実施（博物館活用講座、幼稚園等新規採用教員研修））
(エ) 岐阜大学（標本合同調査保管、展示資料開発、連携企画展の実施）

③地学・古生物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ王国産恐竜足跡化石の足跡学的研究
(イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
(ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
(エ) 岐阜県における古生界動物化石調査
(オ) 岐阜県における瑞浪層群の化石調査
(カ) 長野県における来馬層群化石調査

イ 原著論文等

Uematsu, R., Tanaka K., Kozu, S., Isaji, S. and Shimojima, S., 2022, Fossi eggshells from the Early Cretaceous Okurodani Formation, northern central Japan (in press). *Historical Biology*, 1–12.

ウ 学会発表など

Uematsu, R., Tanaka K., Kozu, S., Isaji, S. and Shimojima, S., 2022, Turtle and theropod eggshells from the Hauterivian to Barremian of Okurodani Formation, northern central Japan. Society of Vertebrate Paleontology 82nd Annual Meeting, Regular Poster Session 1, Totonto, Ontario, Canada.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 県内外産化石クリーニング作業（ジオグループ）
(イ) 県内の化石産地における化石採集
(ウ) 収蔵化石標本の整理

オ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との古生物学的共同研究
(イ) タイ国鉱産資源局地質調査所（DMR: Department of Mineral Resources of Thailand）との古生物学的共同研究
(ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査
(エ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館及び東京都市大学との古生物学的共同研究

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム係では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務を担当している。

マイミュージアムギャラリー展示は、マイ・ミュージアム棟2階の展示室（マイミュージアムギャラリー）を会場に、県民あるいは岐阜県ゆかりの個人・団体の収蔵品（コレクション）や作品・創作活動の成果を展示公開する事業である。

マイ・ミュージアム業務では、岐阜県博物館収蔵品データベースに係る業務、公式ホームページの運用、並びに、マイ・ミュージアム棟3階けんぱくホールを使用した博物館学芸講座（講演会）事業、ほかに、博物館機能の全県展開事業における民間商業施設連携事業等を実施している。

①マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変素晴らしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

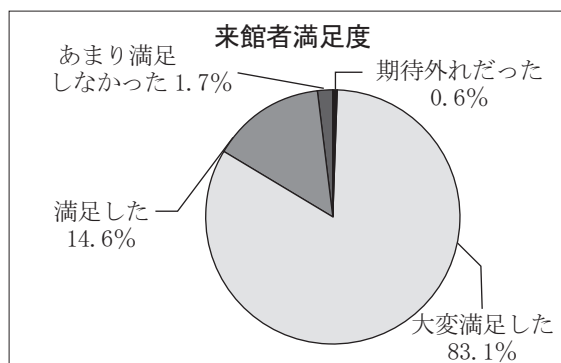
- ・日時 令和4年10月20日（木） 13：30～15：00
- ・場所 マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール

ウ 展示記録「マイ・コレクション」（展示紹介チラシ）の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。令和4年度は平成7年度からの通番で、第197号から第203号までを発行した。

エ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。



【図1 観覧者の満足度（令和4年度4月～3月）】

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えている。

更に、出展者への意識調査では、高い満足度を得ていることが分かった。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものといえる。更なる改善を行い、魅力的なギャラリー運営を行っていきたい。

また、情報機器を活用した展示やレイアウトやパーティションを工夫した展示がいくつかあり、ギャラリー運営の新たな可能性を見出した。出展者には事前に他の展示を観覧し、自身の展示の参考する機会を設け、よりよい展示になるように支援した。今後は照明の工夫や多様な情報機器への対応の改善を図り、出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

オ 令和5年度の出展申し込み

令和5年度出展候補として申込は11件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

平成27年度より、高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施してきた。令和4年度展示では、初めて学術機関の展示が行われたが、更に若い世代に成果発表の場を広げるため、大学生等の展示が行えるように要綱の改正を行った。

カ 令和5年度展示計画及び今後の課題

令和5年度出展候補11件について、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会（令和4年10月20日開催）にて会員から意見を聴き6件の展示を決定した。出展申込についてロゴフォームの設置やチラシデザインを改良して出展を募る改善を行った。年間をとおしての展示内容・地域のバランスや本館展示との連携を考えることが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏 名	所 属 等
浅野 裕司	岐阜県博物館元館長
岩井 弘栄	民間有識者
加藤誉使子	民間有識者
杉江 祐子	岐阜県立関有知高等学校長
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

（五十音順 敬称略）

②マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟は平成7年に竣工し、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」等のオリジナルソフトを制作、マルチメディア情報センターや先進的なハイビジョンホールを設置して、岐阜県における情報施策の拠点となる一方、県民の収蔵品や作品を展示公開するマイミュージアムギャラリーを運営して、ユニークな活動を展開してきた。しかし、マルチメディアやハイビジョンが前時代的となり、メディア編集・発信が個人的に行われる現在、その普及啓発の意義が薄れたとして、工房の利用・稼働を終了した。

現在の岐阜県博物館におけるマイ・ミュージアム事業は、既存の情報通信機器・システムを活用したデジタルコンテンツの作成・発信、収蔵品データベースの運用・拡充及びホームページの運用更新を行っている。

ア 収蔵品データベースの運用

岐阜県博物館では、平成21年度末、全国の博物館・美術館でサーバを共有するクラウドサービス（I.B.MUSEUM SaaS）に収蔵品データを移行し、平成23年度に一部データのインターネット公開を含めた収蔵品データベースの本格的な運用を開始した。

現在は、受け入れた博物館資料のデータベース入力、資料利用履歴のデータベース管理を実施している。

当該データベースからは一部データを一般公開用としてデータを流用し、公開サイト（資料検索システム）

平成27年度より運用し、令和5年3月現在の公開は587件。）と「ポケット学芸員」（展示ガイドアプリ。令和元年度より運用し、令和5年3月現在の公開78件。）をインターネット経由で公開する機能を取り入れ、双方ともに順次コンテンツを充実させていく予定である。

コンテンツの拡充にあたっては、常設展示物・コーナーの公開が一通り終了しているため、今後は、展示替えの伴う収蔵品や、教育普及プログラム（体験メニューや定時展示解説など）も含めて柔軟に対象を拡大していきたいと考えている。

イ けんぱくホールの活用

けんぱくホールは、団体利用等の利用に供するほか、岐阜県博物館の講演会シリーズである「博物館学芸講座」（次項に詳述）の会場として活用している。

令和5年1月より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため半減していたホール定員を120人に戻した。三密を忌避する参加者向けにzoomによるリモート会場を用意したが、利用はなく、おおむねコロナ前の実施

状況に復している。

（Ａ）博物館学芸講座について

「博物館学芸講座」は、平成26年度から開始した講演会シリーズ（29年度に「大人のための博物館講座」を改称）で、県民の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的として実施している。当館学芸員や外部の有識者が講師を務め、岐阜県及び当館事業（特別展・企画展・常設展示など）に関連するテーマやその折々の旬の話者による最新学術情報を取り上げてきた。年間8～14回開催しており、令和4年度は9回（そのほかに中学高校オンライン講座1回）にわたって実施し、うち配信2回・延期1回であった。

令和4年度実施分は次の一覧の通りである。なお、3は講師都合により来館がかなわず、中継映像をホールで視聴する形式となった。7の延期は、台風接近に伴う悪天候による。＊は、普段、博物館利用の少ない中高生の参加を図った企画で、配信のみの実施とした。

博物館学芸講座一覧（令和4年度実施分）

通番	開催日	注	係	演題	講師	講師肩書き	参加人数
1	5/29(日)		自然	キリンの首はなぜ長い？：解剖からわかるキリンの進化	郡司芽久	東洋大学生命科学部 助教	57
2	6/4(土)		自然	きのこの魅力	津田格	岐阜県立森林文化アカデミー 教授	55
3	6/11(土)	中継を ホール視聴	自然	小惑星探査機はやぶさ2の冒険：世界初の挑戦とその成果	津田雄一	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構はやぶさ2プロジェクトマネージャ	60
4	6/19(日)		MM	古文書に見える動物たち：ライチョウ・ウナギ・ゾウ・トラ	中尾喜代美	岐阜大学地域科学部地域資料・情報センター 元職員	37
5	7/16(土)		MM	資料保存から見つめる地域の歴史文化：歴史文化のレスキュー	天野真志	国立歴史民俗博物館研究部 准教授	40
6	8/6(土)		自然	恐竜の島「御所浦」、天草1億年の旅	黒須弘美	天草市立御所浦白亜紀資料館 学芸員	48
＊	8/10(水)	配信のみ	MM	めざせ！研究の☆(ほし)：技術を仕事にする方法	上辻久敏・岐阜県森林研究所専門研究員 小林和馬・長良川上流河川開発工事事務所技師 松島史弥・岐阜県博物館職員		12
7	9/19(月祝)	延期：1/15日	MM	美濃の仏像	井上一稔	同志社大学文学部 教授	66
8	11/6(日)		人文	夕田墳墓群から考える美濃の古墳出現期の様相	島田崇正	富加町教育委員会教育課 文化財専門官	58
9	2/5(日)		人文	近世譜代大名論	三宅正浩	京都大学文学研究科 准教授	103

（Ｂ）民間商業施設連携（全県展開事業）

平成29年度より全県域へのアウトリーチ活動（博物館機能の全県展開事業）の一環として、大型民間商業施設との連携事業を実施している。集客力の大きいショッピングモールで、出張けんぱく教室（ワークショップ）やサテライト展示を行い、館の周知と来館誘致を図っている。

平成29年度に、モレラ岐阜（本巣市）、カラフルタウン岐阜（岐阜市）、マーサ21（岐阜市）、マーゴ（関市）の4施設で開始し、このうちマーサ21とマーゴにはポスター・チラシの常設コーナーを設置していただいている（前者は3年12月より店舗改装のため休止中）。

その後、令和3年度にイオンモール各務原（各務原市）でも新たに連携事業を開始した。

4年度には、新たに、県産品流通支援課の声掛けによりアクティブG（岐阜市）の催事に参加し、岐阜県博物館協議会の委員の意見を受けて、実績のなかった東濃地域においてイオンモール土岐（土岐市）で実施した。また、マーゴに、パネル展示や実物展示を実施する岐阜県博物館コーナーを新設していただいた（5年秋までの予定）。

令和4年度実施分は次の一覧の通りである。

民間商業施設連携事業一覧（令和４年度実施分）

a. 出張けんぱく教室

開催日	施設	場所	催事	参加人数
4/16(土)	マーゴ	2F 夢広場	化石レプリカづくり	147 人
4/30(土)	マーサ 2 1	1F マーサスクエア	いろいろ・化石レプリカづくり	166 人
5/4(水祝)	モレラ岐阜	1F ホワイトプラザ	むかしのおもちゃづくり：ずぼんぼ	84 人
6/18(土)	カラフルタウン	1F グルメタウンコート	空とぶ、恐竜！？ずぼんぼ	86 人
7/2(土)～3(日)	イオンモール各務原	1F ノースコート	空とぶ、恐竜！？ずぼんぼ	303 人
8/14(日)	アクティブ G	2F ふれあい広場	空とぶ、恐竜！？ずぼんぼ	96 人
10/2(日)	マーサ 2 1	1F マーサスクエア	恐竜ずぼんぼ＋ジオード割	264 人
3/21(火祝)	イオンモール土岐	2F ホビーゾーン前	はっぱでしおり！葉脈標本でつくろう	168 人

b1. サテライト展示

期間	施設	場所	タイトル	来場人数
5/18(水)～30(月)	マーゴ	1F インフォメーション&ファインフォート裏	出張！！蔵出し！骨のあるやつ	計測不能
6/28(火)～8/22(月)	モレラ岐阜	2F ホワイトプラザ(ブリッジ)	出張！！蔵出し！骨のあるやつ	計測不能
8/11(木祝)～31(水)	アクティブ G	3F 343 区画	岐阜県博物館の恐竜コレクション	2,723 人

b2. 新規サテライト展示（マーゴ 岐阜県博物館コーナー）

期間	テーマ	タイトル
10/6(木)～12/6(火)	パッチワークキルト展	MMG5 「パッチワークキルト展」
10/6(木)～1/22(日)	土岐石	MMG6 「土岐石 美の世界」
12/6(火)～2/28(火)	パレオアート	特別展「パレオアート作品展」
1/31(火)～3/17(金)	福よせ雛	MMG7 「おひなさまのセカンドライフ」
2/28(火)～3/17(金)	家康と美濃の諸将	企画展「天下人 家康と美濃の諸将」
3/17(金)～	野原櫻州の世界	MMG1 「野原櫻州の世界」
3/17(金)～	錦絵からみた武士の世界	企画展「錦絵からみた武士の世界」

c. GIFU マスタークイズラリー（モレラ岐阜）

期間	テーマ	タイトル	担当
4～8 月	動物の歯	企画展「蔵出し！骨のあるやつ」	自然係
9～12 月	いにしえの岐阜	特別展「発見！いにしえの岐阜」	人文係
1～6 月	パレオアート	特別展「パレオアート作品展」	自然係

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数（令和5年3月31日現在）

①人文分野

分 野	資 料 数（件）
考 古	461
歴 史	1,412
民 俗	1,649
美 術 工 芸	1,345
合 計	4,867

②自然分野

分 野	資 料 数（件）
動 物	47,702
植 物	91,273
岩 石 鉱 物	2,172
化 石	1,943
合 計	143,090

(2) 令和4年度寄贈資料一覧

①自然分野

資 料 名	件数
動植物化石（柴田標本）	一式
荘川産動植物化石（柴田憩コレクション）	一式
アリ類タイプ標本など	36
ハラダロオオテントウ	1
オシドリ	1
リュウグウサンプル（レプリカ）	3
キツネ	3
土岐石	3
オオオカメコオロギ	4
魚類等液浸標本	270
キツネ	1
根尾産アンモナイト	1
動物標本	62
熊石洞産のシカ化石	4

(3) 令和4年度購入資料一覧

①人文分野

購入資料名	点数
徳川家康書状	1
月岡芳年 美談武者八景 広徳寺の晩鐘	1
歌川国芳 楠正成之臣辻板風侍 細川員氏生捕囚	1
歌川豊宣 新撰太閤記 毛受勝助照景 山田藤太夫	1
歌川豊宣 新撰太閤記 秀吉ノ耐忍	1
歌川豊宣 新撰太閤記 姉川大合戦	1
歌川芳富 盆應寺大合戦	1
月岡芳年 徳川累代像頭	1
月岡芳年 豊臣昇進録 大徳寺	1
月岡芳年 月百姿 山城小栗栖月	1

②自然分野

購入資料名	点数
長良隕石（レプリカ）	2
ヘリコプリオン（複製）	1
ニホンオオカミ頭骨（レプリカ）	1
アシナシイモリ頭骨拡大模型	1
プラティペロドン歯	1
キリン頷椎	1
ヒトコブラクダ頭骨	1
オニバス（レプリカ）	1
トロオドン科恐竜の復元模型	2
トロオドン類の卵模型	1
ジャワツパイ頭骨	1
チャクマヒヒ頭骨	1
オオハシウミガラス頭骨	1
クチベニタケ（樹脂封入標本）	1
イヌセンブリ（樹脂封入標本）	1
タコノアシ（樹脂封入標本）	1
ミズガヤツリ（樹脂封入標本）	1
サンカクイ（樹脂封入標本）	1
オニバス（樹脂封入標本）	1
アリオラムス（復元模型）	1
ペンタゴナイト	1
トラピッチェエメラルド	1
アクアマリン・フローライト・アパタイト・モスコバイト	1
アルジェリア産隕石	1
動物頭骨（3Dレプリカ）	8
シノヴェナートルの骨格（レプリカ）	1
ルゴプス頭骨	1
タルボサウルス下顎（レプリカ）	1
ナノティランヌス頭骨（レプリカ）	1

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

①催し物開催状況

催し物(館内)は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室」(子ども・家族向け)、「講演会」(大人向け)「特別展・企画展講演会」「博物館学芸講座」、三重県総合博物

館(MieMu)との交流企画)を、各係が担当して館内、館外において実施した。三重県総合博物館(MieMu)との交流企画では、三重県総合博物館からは人文分野、岐阜県博物館からは自然分野の講師を相互に1名ずつ派遣して講演会を開催した。

<催し物開催状況一覧>

事業名	月	日	曜日	定員	参加	事業名	会場(館外)
けんぱく教室	4	23	土	15	5	百年公園で春を見つけよう	百年公園
	5	3	火祝	20	中止	ニワトリの頭骨標本づくり	
	5	5	木祝	25	22	恐竜を造ろう	
	5	5	木祝	20	19	恐竜を組み立てよう	
	5	14	土	80	123	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	5	15	日	80	152	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	6	5	日	10	10	どうぶつたんけんたい	
	7	17	日	10	20	手羽先で骨格標本づくり	
	8	7	日		280	荘川化石フォーラム(発掘体験、ワークショップ)	
	8	27	土	10	13	手羽先で骨格標本づくり	
	9	18	日	10	12	モビールを作ろう	
	10	15	土	80	138	オータムフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	10	16	日	80	235	オータムフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	10	22	土	15	13	百年公園で秋を見つけよう	百年公園
	10	30	日	5×2	11	収蔵庫探検	
	11	23	水祝	25	22	恐竜を造ろう	
	11	23	水祝	20	12	恐竜を組み立てよう	
	12	3	土	50	46	クリスマスナイトミュージアム	
	12	18	日	50	139	ジオード割り体験	
	1	7	土		中止	正月遊び	
	1	7	土		中止	七草がゆを食べよう	
	1	9	月祝	10	11	和紙でミニランプをつくろう	
	1	15	日	10	12	アンモナイトで苔テラリウムを造ろう	
	1	29	日	50	156	三葉虫を取り出そう	
	2	19	日	50	92	三葉虫を取り出そう	
	3	19	日	20	12	春のチョウを観察しよう	百年公園
学芸講座	5	29	日	65	57	学芸講座「キリンの首はなぜ長い? 解剖からわかるキリンの進化」	
	6	4	土	65	55	学芸講座「きのこの魅力」	
	6	11	土	65	60	学芸講座(中継講演)「小惑星探査機はやぶさ2の冒険 世界初の挑戦とその成果」	
	6	19	日	65	37	学芸講座「古文書に見える動物たち ライチョウ・ウナギ・ゾウ・トラ」	
	7	16	土	65	40	学芸講座「資料保存から見つめる地域の歴史文化 歴史文化のレスキュー」	
	8	6	土	65	48	学芸講座「恐竜の島『御所浦』、天草1億年の旅」	
	11	6	日	65	58	学芸講座「夕田墳墓群から考える美濃の古墳出現期の様相」	
	1	15	日	120	66	学芸講座「美濃の仏像」	
	2	5	日	120	103	学芸講座「近世譜代大名論」	
	2	11	土祝	120	51	学芸講座「海外の博物館のバレーアート」	
関連講演会	7	31	日	65	62	企画展関連講演会「漂着したクジラからのメッセージ」	
	8	7	日	90	73	荘川化石フォーラム(講演会)	
	8	10	水	100	12	オンライン講座「めざせ! 研究の☆」	オンライン
	10	9	日	65	58	特別展関連講演会「濃尾平野の古墳の始まりを求めて」	
	2	23	木祝	120	85	特別展関連講演会「古生物の復元画の世界」	
交流企画	9	4	日		25	三重県総合博物館交流企画「海岸で鯨の骨を探してみた」	三重県総合博物館
	3	5	日	120	71	三重県総合博物館交流企画「織豊期の伊勢 一寺社から考える一」	

けんぱく教室	23回	1,555名	関連講演会	5回	290名
学芸講座	10回	575名	交流企画	2回	96名
合計	28回		人数	2,516名	

②わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、主に第2・第4日曜日に開催している。昨年度に引き続き、コロナ対策のため、体験場所を研修室から講堂とし、6組×4回の入れ替え制で会場内が過密にならないよう配慮した。体験メニューは「化石取り出し体験」「化石レプリカづくり」「ものづくり体験」の3つを主とし、「ものづくり体験」は時期に応じてメニューを変更しながら実施した。

＜わくわく体験コーナー＞

実施回数	参加人数	実施メニュー
21回	1,442人	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、ものづくり体験（ずぼんぼ、どんぐり標本箱、万華鏡づくり）

③展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。テーマは「恐竜の話」・「合掌造りの話」・「鶉飼の話」・「輪中の話」・「大昔の人々のくらしの話」・「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、時期や来館者の様子に応じて内容を選択して実施した。これまで新型コロナウイルス感染防止のため実施を見送ってきた特別展・企画展解説（ギャラリートーク）を今年度は実施し、学芸員による専門的な解説を来館者に直接提供した。

＜展示解説＞

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	416回	2,349人	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	9回	100人	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

④DX（デジタルトランスフォーメーション）事業

令和3年度は「けんぱくデジタル展示室」を設置し、収蔵品の内の80点について、360度回転撮影を行い、高画質画像（ハイクオリティVR）でデータ化して、館内外で拡大や回転して閲覧できるようにした。令和4年度は岐阜県博物館に展示している恐竜の全身骨格復元標本を撮影・データ化して、VPSアプリ内で表示できる3DCGの恐竜制作と、岐阜県白川村大白川の自然の中でイグアナドンが生活している様子をイメージできるヘッドマウントディスプレイを用いた360°VRコンテンツを制作し、館内で鑑賞できるように整備した。また、刀剣鑑賞デジタルコンテンツ「刀剣鑑賞 自由自在」を開発し、新しい刀剣鑑賞の方法を提示した。

⑤団体利用

昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、校外行事を見送る判断により予約をキャンセルする学校団体が一定数存在したが、今年度は多くの団体が当初の計画通り利用することとなった。また、これまで利用を見送っていた団体が利用を再開する事例もあった。しかしながら、館内利用にあつては、入館時の検温・手指消毒、解説員による「恐竜の話」参加可能者数の制限を継続など、新型コロナウイルス感染症の影響は色濃く残った。

学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」を博物館サポーターの協力を得ながら実施する一方、「どんぐり工作」などの制作体験活動については、場所提供のみとした。展示では、自然展示室1・2を活用したワークシートを主に実施した。団体利用説明会で紹介した化石レプリカづくりの体験メニューが好評で、例年に比べて多くの学校団体が採用し、楽しんでもらった。

＜団体利用＞

月	日	曜	所在地	団 体 名	対象	人数	活動内容
4	23	土	関市	岐阜県警察学校	初任科生	130	展示解説（恐竜の話）・自由見学
4	29	金	岐阜市	笑顔学園トリルベア・グランディールベア	小・中	14	自由見学
5	1	日	郡上市	児童養護施設 合掌苑	幼・小	10	自由見学
5	11	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小2	63	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり・展示セルフガイド
5	13	金	可児市	可児市立東可児中学校	中1	89	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
5	17	火	岐阜市	岐阜市立芥見東小学校	小6	55	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
5	18	水	美濃加茂市	美濃加茂市立古井小学校	小	48	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり・展示セルフガイド
5	20	金	岐阜市	県教委センター研修「博物館活用講座」	教員	12	学芸員解説（企画展示室、自然展示室）・屋外活動
5	20	金	稲沢市	稲沢市立小正小学校	小3	84	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
5	26	木	関市	関市立旭ヶ丘中学校	中1	150	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・里山オリエンテーリング
5	31	火	岐阜市	岐阜市立藍川中学校	中1	22	学芸員解説（自然展示室）・屋外観察
6	2	木	美濃加茂市	イザキニュートン学校	小・中・高	20	展示セルフガイド
6	10	金	名古屋市	名古屋教育文化センター スタンツ	年長	50	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
6	15	水	中津川市	中津川市立坂本小学校	小4	113	展示セルフガイド
6	23	木	郡上市	郡上市立相生小学校	小5	19	展示セルフガイド・企画展見学
6	25	土	可児市	可児市立旭小学校	小5	74	展示解説（輪中の話）・展示セルフガイド・企画展見学
7	7	木	可児市	かわい幼稚園	年長	30	展示解説（恐竜の話）自由見学
7	26	火	本巣市	放課後等デイサービスグローイングさくら	小	11	自由見学
8	4	木	多治見市	岐阜県立多治見北高等学校	高2	24	学芸員解説（企画展示室）・屋外活動
8	5	金	関市	キッズステーションあおぞら芥見	小	15	自由見学
8	9	火	関市	岐阜県高文連自然科学部会	高	16	学芸員解説（自然展示室、企画展示室）
8	9	火	岐阜市	レインボーグループ	小	30	自由見学
8	12	金	岐阜市	レインボーグループ	小	30	自由見学
8	20	土	岐阜市	岐阜県・愛知県自然観察指導連絡会	一般	26	学芸員解説（自然展示室、企画展示室）・屋外観察
9	9	金	輪之内町	輪之内町立大藪小学校	小4	50	展示セルフガイド
9	17	土	江南市	ピュアハート	小	41	自由見学
9	21	水	岐阜市	県教委センター研修「幼稚園等新規採用教員研修」	教員	60	展示セルフガイド・どんぐり駒づくり・屋外活動
9	22	木	岐阜市	県教委センター研修「幼稚園等新規採用教員研修」	教員	42	展示セルフガイド・どんぐり駒づくり・屋外活動
9	27	火	岐阜市	岐阜県立岐阜希望が丘特別支援中学部	中	3	学芸員解説（大昔の人々の暮らし、特別展示室）・展示セルフガイド
9	27	火	岐阜市	芥見第二幼稚園	年長	43	展示解説（恐竜の話）・自由見学
9	29	木	各務原市	各務原市教育委員会あすなろ教室	小・中	9	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり・自由見学
9	29	木	安八町	安八町立名森小学校	小4	90	展示セルフガイド
9	30	金	本巣市	本巣市立一色小学校	小1	41	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	4	火	岐阜市	岐阜市立西郷小学校	小1	87	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	4	火	関市	関市立博愛小学校	小2	29	学芸員解説（古い道具と昔の暮らし、昆虫の話）・自由見学・里山オリエンテーリング
10	5	水	関市	関市立瀬尻小学校	小1	57	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	5	水	中津川市	中津川市立加子母中学校	中1・2	34	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	6	木	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小1	78	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	7	金	関市	関市立博愛小学校	小1	25	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	7	金	富加町	富加町立富加小学校	小1	28	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	9	日	江南市	古南スポーツ少年団	小	60	展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	10	月	岐阜市	放課後等デイサービス ラビットキッズ岐阜	小	20	自由見学
10	12	水	関市	関市立上之保小学校	小1・2	7	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
10	13	木	多治見市	多治見市立滝呂小学校	小3	90	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（古い道具と昔の暮らし）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	14	金	関市	関市立富岡小学校	小1	82	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（昆虫の話）・秋みつけ
10	14	金	関市	せきボランティアガイドの会	一般	7	学芸員解説（特別展示室）・自由見学
10	14	金	郡上市	白鳥こども園	年長	16	自由見学
10	18	火	関市	関市立田原小学校	小1	42	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	18	火	東白川村	東白川村立東白川小学校	小4	12	展示解説（恐竜の話・輪中の話）・展示セルフガイド
10	19	水	揖斐郡大野町	大野町立大野小学校	小3	55	学芸員解説（古い道具と昔の暮らし）・化石レプリカづくり・展示セルフガイド・流籠体験
10	19	水	関市	関市立南ヶ丘小学校	小1・2	23	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ・工作活動
10	20	木	川辺町	川辺町立川辺西小学校	小1	24	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	20	木	関市	関市立倉知小学校	小1	83	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	21	金	岐阜市	県教委センター研修「博物館活用講座」	教員	17	学芸員解説（自然展示室）・屋外活動

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
10	21	金	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小1	59	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	21	金	笠松町	笠松町立笠松小学校	小1	30	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	21	金	関市	関市立富野小学校	小1	18	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	23	日	江南市	ボーイスカウト江南3団	小・中・高	32	展示セルフガイド・
10	25	火	可児市	可児市立東明小学校	小2	33	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
10	25	火	川辺町	川辺町立川辺東小学校	小1	24	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	25	火	関市	関市立武儀小学校	小1・2	28	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	26	水	岐南町	岐南町立北小学校	小1	61	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	26	水	関市	関市立洞戸小学校	小1・2	28	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ・工作活動
10	26	水	関市	関市立倉知小学校	小2	68	展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	27	木	川辺町	川辺町立川辺西小学校	小1	25	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	27	木	関市	関市立瀬尻小学校	小2	66	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
10	27	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小2	57	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
10	27	木	岐阜市	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属幼稚園	年長	74	自由見学
10	28	金	本巣市	本巣市立席田小学校	小1	44	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	28	金	稲沢市	稲沢市立領内小学校	小5	40	展示解説（輪中の話）・化石レプリカづくり
10	28	金	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小1	38	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
10	28	金	関市	関市立金竜小学校	小1	83	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
10	29	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大	13	
10	30	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大	13	
11	1	火	各務原市	各務原市立鶴沼第一小学校	小1	92	展示セルフガイド・秋みつけ
11	1	火	関市	関市立安桜小学校	小2	69	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
11	2	水	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小1	79	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	2	水	各務原市	各務原市立稲羽東小学校	小1	25	展示解説（恐竜の話）・秋みつけ・工作活動
11	2	水	八百津町	八百津町立和知小学校	小1・2	55	展示セルフガイド
11	2	水	可児市	明誠義塾高等学院	高	23	自由見学
11	4	金	可児市	可児市立土田小学校	小1	80	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
11	4	金	関市	関市立下有知小学校	小1	57	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
11	4	金	可児市	明誠義塾高等学院	高	29	自由見学
11	5	土	大垣市	アートラボぎふ	一般	20	学芸員解説（特別展示室）・篆刻
11	8	火	御嵩町	可児市御嵩町組合立向陽中学校PTA	一般	9	学芸員解説（カリコテリウムの話・特別展示室）・自由見学
11	8	火	関市	関市立武芸小学校	小1・2	24	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	8	火	養老町	養老町立日吉小学校	小5	29	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
11	9	水	関市	美濃市立中有知小学校	小1	39	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ・工作活動
11	9	水	本巣市	本巣市立弾正幼稚園	年長	37	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
11	10	木	神戸町	神戸町立下宮小学校	小4	25	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
11	10	木	関市	関市立安桜小学校	小1	74	展示セルフガイド・秋みつけ・工作活動
11	11	金	羽島市	羽島市立堀津小学校	小1	24	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	11	金	岐阜市	岐阜市立網代小学校	小1・2	16	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
11	15	火	岐南町	岐南町立東小学校	小1	114	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	15	火	関市	関市立寺尾小学校	小1・2	6	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ・工作活動
11	16	水	各務原市	各務原市立蘇原第二小学校	小3	81	展示セルフガイド・化石レプリカづくり
11	16	水	笠松町	笠松町立松枝小学校	小1	83	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	17	木	大垣市	大垣市立小野小学校	小2	151	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（昆虫の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
11	18	金	七宗町	七宗町立神測小学校	小1・2	21	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（ふるさとの哺乳類）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ

月	日	曜	所在地	団 体 名	対象	人数	活動内容
11	18	金	揖斐郡大野町	大野町立中小学校	小１・２	62	展示セルフガイド・化石レプリカづくり
11	22	火	飛騨市	飛騨市立神岡小学校	小５	44	展示セルフガイド
11	22	火	川辺町	川辺町立川辺北小学校	小１	23	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	24	木	本巣市	本巣市立本巣小学校	小１	43	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	24	木	坂祝町	まなびいかも丸講座	一般	20	展示解説（恐竜の話）・自由見学
11	25	金	美濃加茂市	岐阜県高教研生物部会	高	56	学芸員解説（自然展示室）
11	26	土	関市	関市立倉知小学校放課後ふれあいクラブ	小	48	秋みつけ
11	26	土	海津市	海津市みどりの少年団	小	21	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
11	29	火	岐阜市	岐阜市立長良東小学校	小１	122	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・秋みつけ
12	１	木	安八町	安八町立牧小学校	小３・４	23	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
12	10	土	岐阜市	放課後等デイサービスキッズステーションあおぞら六条	小	10	自由見学
12	10	土	本巣市	コノミチテラス	小	14	自由見学
12	14	水	各務原市	ハイカレッジ各務原東	一般	21	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（特別展示室）・展示セルフガイド
12	16	金	垂井町	垂井町立宮代小学校	小４	31	展示解説（輪中の話）・展示セルフガイド・特別展示室見学
12	16	金	郡上市	郡上市立川合小学校	小５	20	展示セルフガイド
12	22	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年少	42	自由見学
12	24	土	岐阜市	一般財団法人岐阜県民間社会福祉事業従事者共済会	一般	9	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（特別展示室）・化石取り出し体験・自由見学
１	６	金	本巣市	放課後デイサービス グローイングさくら	小	15	自由見学
１	14	土	岐阜市	レインボーグループ	小	26	自由見学
１	18	水	羽島市	羽島市立正木小学校	小３	144	展示解説（恐竜の話）・学芸員解説（古い道具と昔のくらし）・化石レプリカづくり・展示セルフガイド
１	19	木	各務原市	各務原特別支援学校	中１	35	自由見学
１	21	土	岐阜市	レインボーグループ	小	32	自由見学
１	24	火	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年少	41	展示解説（恐竜の話）・自由見学
１	27	金	海津市	海津市教育委員会	一般	8	学芸員解説（人文展示室）
２	10	金	下呂市	下呂市立中原小学校	小５・６	14	展示セルフガイド
２	15	水	北方町	岐阜農林高等学校	高１	40	学芸員解説（自然展示室）・展示セルフガイド
２	17	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	59	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
２	23	木	各務原市	ココアキッズそはら	小	20	自由見学
３	２	木	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属梶が丘幼稚園	幼・保護者	79	自由見学
３	３	金	関市	小金田保育園	年中	20	自由見学
３	７	火	山県市	はなぞの北幼稚園	年中	28	展示解説（恐竜の話）・自由見学
３	９	木	美濃加茂市	あじさい保育園	年中・年長	97	展示セルフガイド
３	10	金	揖斐郡大野町	大野町文化財保護協会	一般	12	学芸員解説（企画展示室）
３	10	金	美濃加茂市	明応こども園	幼	35	自由見学
３	28	火	岐阜市	GYM s キッズ栗野	小	18	化石レプリカづくり・自由見学

	団体数	人数
学校団体（幼保含む）	98 校	4,875 人
学校以外の団体	36 団体	943 人
合 計	134 団体	5,818 人

⑥出前授業・講師派遣・リモート授業

今年度は昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響が少なく、依頼が多くなる傾向であった。依頼のあった件については、招聘先として各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。遠隔地に学校があったり、感染症対策として来館が難しかったりする学校や、理科や社会科の学習の一環として授業の内容に博物館の展示を活用したいという要望から、リモート授業も実施した。

<出前授業・講師派遣>（教育普及）

期 日	依頼者（会場）	対象	人数	講 演 内 容
令和4年 5月26日（木）	各務原市西ライフデザインセンター	一般	31	各務原の地層と恐竜の話・化石レプリカづくり
令和4年 6月29日（水）	安八町立結小学校	小1・保護者	86	岐阜県博物館の紹介・化石レプリカづくり
令和4年 7月18日（月）	岐阜県生涯学習指導者会との例会 雀めの学校【県職員出前トーク】	一般	10	岐阜県博物館の活用
令和4年 7月22日（金）	岐阜県職業能力開発協会	一般	7	岐阜県博物館広報活動の概要
令和4年 8月23日（火）	美濃市藍見公民館（藍見地域ふれあいセンター）	小	14	化石レプリカづくり・ずぼんぼづくり
令和4年11月19日（土）	ぎふサイエンスフェスティバル	一般	378	化石レプリカづくり
令和4年11月22日（火）	郡上市教育研究会 小学校理科部会	教員	5	岐阜県博物館の役割と活用
令和4年11月26日（土）	放課後ふれあいクラブ	幼・小・保護者	48	百年公園での秋見つけ
令和4年12月 7日（水）	下呂市立馬瀬小学校	小6	6	化石レプリカづくり・化石取り出し体験
令和4年12月13日（火）	高山市立江名子小学校	小6	43	岐阜県博物館の紹介・化石レプリカづくり
令和4年12月16日（金）	山県市富岡公民館（富岡小学校）	小3	77	化石取り出し体験

<リモート授業>（教育普及）

期 日	相手先	対象	人数	授 業 内 容
令和4年 8月16日（火）	放課後デイサービスみちな	小	11	恐竜の話
令和4年 8月30日（火）	本巣市立根尾学園	義6	6	大昔の人々の暮らし
令和4年 8月30日（火）	岐阜市立岐阜小学校	小6	55	大昔の人々の暮らし
令和4年 8月31日（水）	中津川市立南小学校	小6	57	大昔の人々の暮らし
令和4年 9月13日（火）	本巣市立弾正小学校	小6	43	大昔の人々の暮らし
令和4年 9月14日（水）	本巣市立真桑小学校	小6	79	大昔の人々の暮らし
令和4年 9月30日（金）	岐阜市立芥見東学校	小6	58	大昔の人々の暮らし
令和4年11月11日（金）	岐阜市立加納小学校	小6	63	恐竜の話
令和4年11月30日（水）	羽島市立正木小学校	小6	133	恐竜の話
令和4年11月30日（水）	郡上市立吉田小学校	小6	16	恐竜の話
令和4年12月 9日（水）	白川町立黒川小学校	小6	12	恐竜の話
令和4年12月20日（火）	本巣市立土貴野小学校	小6	24	恐竜の話
令和4年12月20日（火）	高山市立莊川中学校	中	33	恐竜の話・学芸員解説（莊川の卵殻化石）
令和4年12月21日（水）	本巣市立一色小学校	小6	31	恐竜の話
令和4年12月21日（水）	白川町立白川小学校	小6	17	恐竜の話
令和4年12月23日（金）	本巣市立本巣小学校	小6	52	恐竜の話
令和5年 2月 2日（木）	瑞穂市立中小学校	小6	33	恐竜の話
令和5年 2月 9日（水）	本巣市立席田小学校	小6	48	恐竜の話
令和5年 2月14日（火）	大垣市立静里小学校	小6	72	恐竜の話
令和5年 2月16日（木）	大垣市立興文小学校	小6	100	恐竜の話
令和5年 2月22日（水）	岐阜市立三里小学校（クラブ活動）	小4・5・6	16	恐竜の話
令和5年 2月24日（金）	関市立下有知中学校	中1	63	恐竜の話
令和5年 2月28日（火）	土岐市立肥田中学校	中1	42	恐竜の話
令和5年 3月 3日（金）	岐阜市立長良小学校	小6	54	恐竜の話
令和5年 3月14日（火）	中津川市立神坂小学校	小6	18	恐竜の話

<出前授業・講師派遣>（自然）

期 日	依頼者（会場）	対象	人数	講 演 内 容
令和4年 8月2日（火）、5日（金）	特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム	小4～6	30	化石露頭現地案内及び恐竜の講義
令和4年11月 1日（火）	関市立田原小学校	小4	50	河川に生息する生物について

⑦資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自然	岐阜聖徳学園大学附属小学校	動物骨格標本など	令和4年 5月14日	令和4年 5月29日	4
	御嵩町立向陽中学校	哺乳類の頭骨	令和4年 5月29日	令和4年 6月 4日	22
	筑波大学生命環境系	恐竜の卵化石等	令和4年 6月30日	令和4年 9月27日	2
	岐阜大学教育学部	動物骨格標本など	令和4年 6月24日	令和4年 7月 5日	11
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	令和4年 7月 1日	令和4年 9月28日	10
	多治見市立小泉中学校	動物骨格標本など	令和4年 7月 3日	令和4年 7月16日	8
	世界淡水魚園水族館アクアトトぎふ	コウモリ、ネズミ、モグラの剥製	令和4年 7月16日	令和4年12月11日	11
	高山市立花里小学校	化石レプリカセット	令和4年 9月 4日	令和4年 9月11日	60
	各務原市立緑陽中学校	動物骨格標本など	令和4年 9月 5日	令和4年 9月22日	8
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類の剥製	令和4年 9月 8日	令和4年12月 6日	6
	岐阜県立岐阜盲学校	化石レプリカセット	令和4年 9月29日	令和4年10月 2日	44
	美濃市教育委員会づくり文化課	美濃隕石レプリカ	令和4年10月 4日	令和4年11月 1日	1
	糸魚川フォッサマグナミュージアム	大倉コレクション	令和4年10月15日	令和4年12月15日	1
	岐阜県立岐阜盲学校	化石レプリカセット	令和4年11月18日	令和4年11月20日	44
	岡山大学農学部	大垣内貝類コレクション	令和4年11月 8日	令和5年 2月 4日	37
	岐阜県立池田高等学校	紫外線ボックスなど	令和4年11月25日	令和5年 1月31日	2
	千葉大学教育学部	タテヤママルクビゴミシ	令和5年 2月 8日	令和5年 5月 8日	1
	関市立有知中学校	アンモナイトの化石など	令和5年 2月15日	令和5年 3月 3日	9
	御嵩町立向陽中学校	化石レプリカセット	令和5年 2月25日	令和5年 3月12日	1
	山県市立伊自良中学校	化石レプリカセット	令和5年 3月12日	令和5年 3月15日	30
人文	高山陣屋管理事務所	トビ（川狩り用）他	令和4年 4月 1日	令和5年 3月31日	15
	多治見市美濃焼ミュージアム	元和八年銘織部燭台	令和4年 4月 1日	令和5年 3月31日	1
	済法寺	木造十一面観音立像（レプリカ）他	令和4年 5月 1日	令和5年 4月30日	5
	可児市	久々利銅鐸 レプリカ	令和4年 9月22日	令和4年12月 3日	1
	三重県総合博物館	聖観音菩薩立像（生櫛自治会）他	令和4年 9月24日	令和4年12月18日	2
	関鍛冶伝承館	槍 銘 相模守藤原政常他	令和4年10月21日	令和4年12月21日	2
	海津市歴史民俗資料館	刀 無銘（直江志津）他	令和4年11月 1日	令和4年12月26日	2
	高山陣屋管理事務所	飛騨国絵図	令和5年 2月28日	令和5年 3月15日	1
合 計					341

⑧画像提供等

	機 関 名	資 料 名	申請日（提供日）	点数
自然	岐阜県校長会館	イブキトラノオなど（画像）	令和4年 4月19日	6
	名古屋大学博物館	センダンガサ属植物標本	令和4年 5月10日	1
	株式会社くもん出版	恐竜全身復元骨格（画像）	令和4年 7月20日	3
	中部大学応用生物学部	シシウド属、コケシノブ科植物標本	令和4年 5月25日	2
	岐阜県教育委員会学校支援課	オニバス（画像）	令和4年10月13日	1
	岐阜大学野生動物資源学研究室	食肉目保護毛及び下毛	令和4年11月 8日	11
	株式会社童夢	カリコテリウム類の大腿骨化石（画像）	令和4年11月16日	1
	関市立下有知中学校	オオサンショウウオ（画像）	令和4年12月 5日	2
	国立科学博物館理工学研究部	今村式2倍強震計	令和4年12月 8日	1
	桜美林大学	イネ科植物標本	令和5年 2月10日	3
	(株)FBC アドサービス	県内産恐竜歯化石など	令和5年 2月10日	4
	名古屋産業大学現代ビジネス学部	バラ科カマツカ類植物標本	令和5年 3月 1日	1
	福井県植物研究会	ラン科植物標本	令和5年 3月 1日	4
	岐阜市立図書館	「葉草のふるさと伊吹特別展」の葉草の写真等	令和5年 3月 9日	1
	読売新聞	オルニトミモサウルス類の群れ（復元画）	令和5年 3月16日	1
人文	株式会社アリソデナサソ	新形三十六怪撰 蘭丸蘇鉄之怪ヲ見ル図	令和4年 6月12日	1
	月刊大和路ならら編集部	壬申の乱図	令和4年 7月24日	1
	海津市歴史民俗資料館	糸緋威二枚胴具足	令和4年 9月 1日	1
	大垣市立図書館	十六銅鐸	令和4年 9月 6日	2
	瑞穂市教育委員会	瓦版 中山道御下向御休泊御本陣附	令和4年12月13日	1
	島根大学法文学部	円満寺山古墳出土画文帯神獣鏡	令和5年 3月14日	1
合 計				49

⑨刊行物

名 称	種 別	発行年月日	判、仕 様	部 数
岐阜県博物館報第 45 号	刊行物	令和4年 4月 1日	A 4、38 頁	700
主催イベント「荘川化石フォーラム」	チラシ	令和4年 8月 7日	A 4、両面	22,000
岐阜県博物調査研究報告第 43 号	刊行物	令和5年 3月 31日	A 4、56 頁	600
令和4年度 展示・催し物年間スケジュール	リーフレット	令和5年 3月 31日	A 4、3 ツ折	40,000
2023 教員のための博物館の日 in 岐阜県博物館	チラシ	令和5年 3月 31日	A 4、両面	1,800
【展覧会刊行物】				
博物館・岐阜大学連携企画展「蔵出し！骨のあるやつ」	図録	(令和4年 3月 25日)	A 4、107 頁	600
移動展「いつでも防災 次の“その時”に備えよう」	ポスター	令和4年 4月 9日	B 2、片面	1,400
移動展「いつでも防災 次の“その時”に備えよう」	チラシ	令和4年 4月 9日	A 4、両面	28,000
博物館・岐阜大学連携企画展「蔵出し！骨のあるやつ」	ポスター	令和4年 4月 23日	B 2、片面	1,600
博物館・岐阜大学連携企画展「蔵出し！骨のあるやつ」	チラシ	令和4年 4月 23日	A 4、両面	40,000
博物館・図書館連携企画展「つながる、ひろがる錦絵展」	ポスター	令和4年 4月 23日	B 2、片面	1,600
博物館・図書館連携企画展「つながる、ひろがる錦絵展」	チラシ	令和4年 4月 23日	A 4、両面	34,000
特別展「発見！いにしへの岐阜 ―弥生・古墳・古代―	ポスター	令和4年 9月 16日	B 2、片面	2,000
特別展「発見！いにしへの岐阜 ―弥生・古墳・古代―	チラシ	令和4年 9月 16日	A 4、両面	110,000
特別展「発見！いにしへの岐阜 ―弥生・古墳・古代―	図録	令和4年 9月 16日	A 4、54 頁	600
博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜県の野生動物」	ポスター	令和4年10月 28日	B 2、片面	1,500
博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜県の野生動物」	チラシ	令和4年10月 28日	A 4、両面	30,000
特別展「パレオアート作品展 ―二人のパレオアーティスト―	ポスター	令和4年12月 9日	B 2、片面	2,000
特別展「パレオアート作品展 ―二人のパレオアーティスト―	チラシ	令和4年12月 9日	A 4、両面	110,000
特別展「パレオアート作品展 ―二人のパレオアーティスト―	図録	令和4年12月 9日	A 4、96 頁	500
企画展「天下人 家康と美濃の諸将」	ポスター	令和5年 2月 8日	B 2、片面	1,800
企画展「天下人 家康と美濃の諸将」	チラシ	令和5年 2月 8日	A 4、両面	34,000
企画展「天下人 家康と美濃の諸将」	図録	令和5年 2月 8日	B 4、64 頁	600
岐阜県博物館所蔵 赤羽刀図録	図録	令和5年 3月 31日	A 4、56 頁	400
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション 第 197 号	チラシ	令和4年 4月 2日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 198 号	チラシ	令和4年 6月 4日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 199 号	チラシ	令和4年 7月 30日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 200 号	チラシ	令和4年10月 1日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 201 号	チラシ	令和4年11月 12日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 202 号	チラシ	令和4年12月 17日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 203 号	チラシ	令和5年 2月 4日	A 4、両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	令和5年 3月 31日	B 2、片面	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	令和5年 3月 31日	A 4、両面	14,000

⑩図書館資料（令和5年3月31日現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	24,236	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	6,200	
児 童 書	1,149	
博 物 館 資 料	5,987	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	37,572	

(2) 広報活動

入館者及びの館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

①館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2カ月内に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

②館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

③情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、博物館や観光の紹介ウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

④情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。情報配信のテンプレートを改良したことで分かりやすい案内にするだけでなく、予約システムへのリンクを設定することで、スマホから直接申し込みができるようにして利便性を高めた。

⑤SNSによる積極的な情報の発信

ホームページに組み込んである当館公式ツイッターを積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃からSNSに慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、「いいね」やリツイートの数も増えてきている。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

⑥人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスモスさん」を館内外の掲示やSNSへ登場させて、広報大使を務めさせた。また、日本各地の博物館・美術館の公式キャラクターが出演する「ミュージアムキャラクターアワード2022」にアロちゃんを立候補させた。その結果1,873票を獲得して17位となった。

(3) 博物館実習

8月17日(水)から8月21日(日)までの5日間の予定で、岐阜大学(2名)、滋賀県立大学(2名)、岐阜女子大学(2名)、宮崎大学(1名)、名古屋造形大学(1名)、名古屋芸術大学(1名)、の6大学から9名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、自然4名、人文3名、教育普及2名であった。実習計画は下記の通りである。

<実習内容>

第1日目	実習開講式、館長講話、学芸部長講話、岐阜県博物館の概要、博物館学芸員の仕事、教育普及係の仕事、人文係の仕事・人文資料の概要
第2日目	自然係の仕事・自然資料の概要、マイ・ミュージアム係の仕事、分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

(4) 職場体験学習

県内中学校及び高等学校4校から職場体験学習の依頼を受け、各校1日～3日間の日程で実習を行った。主な内容として「広報物の発送作業」「団体対応」「掲示物づくり」「恐竜VRの体験補助」などの教育普及業務を行った。

期間	学校	人数	日数
10月27日、28日	岐阜市立藍川中学校	5名	2日
1月17日～19日	岐阜県立岐阜総合学園高等学校	1名	3日
2月 3日	岐阜市立長良中学校	5名	1日
2月 8日～10日	岐阜県立武義高等学校	1名	3日

(5) 教員のための博物館の日(団体利用説明会)

国立科学博物館が提唱する教員向けプログラム「教員のための博物館の日」により、学校関係者の入館料を減免して、博物館の魅力を知ってもらおうと実施した。あわせて、9月以降に来館予定の学校団体向けの団体利用説明会を実施して、利便性を図った。ホームページでの開催告知、県内高等学校・特別支援学校への電子メールでの案内、小・中学校への案内チラシの配布など周知に努めた。

実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法を採用した。

展示解説や体験メニューを実際に体験してもらえたことで、団体の利用計画に盛り込む学校が多く、秋以降の学校団体の活動の充実にも大いに役立った。参加者からの反応も大変よく、特に学芸員による専門的なワンポイント解説は好評であった。

教育委員会や大学関係者、イベント会社など、学校教員以外の多様な参加があった。

	開催日	参加者数(人)
1日目	7月27日(火)	26
2日目	7月28日(水)	83
3日目	7月29日(木)	41
4日目	7月30日(金)	33

<実施内容>

学芸員解説	人文展示室解説、自然展示室解説
解説員解説	恐竜の話、輪中の話、合掌造りの話
教育普及活動紹介	授業で活用できる資料や講座等紹介
わくわく体験	化石レプリカづくり、組紐ストラップづくり

(6) 三重県総合博物館(MieMu)との交流事業

今年度も、三重県総合博物館との交流企画として、互いの職員が出向いて講演会を行った。

【三重県総合博物館(MieMu)からの派遣】

日時	令和5年3月5日
演題	「織豊期の伊勢ー寺社から考えるー」
講師	太田 光俊(三重県総合博物館 学芸員)
会場	岐阜県博物館

【岐阜県博物館からの派遣】

日時	令和4年9月4日
演題	「海岸でクジラの骨を探してみた」
講師	説田 健一(岐阜県博物館学芸員)
会場	三重県総合博物館(MieMu)

9 利用状況

(1) 利用者数

令和4年度の入館者数は51,217人で、新型コロナウイルスの感染拡大前の令和元年度（57,236人）に比べ89.5%となり、例年に戻ったとはえないが徐々に入館者数を戻すことができた。10月～11月の平日には連日の様に学校団体が来館して、高校生以下の利用者数が伸びた。例年、2月は入館者数が少ないが、特別展「パレオアート作品展」と企画展「天下人 家康と美濃の諸将」が同時開催されていたため、比較的に入館者が多かった。

月	館内利用						館内及び館外利用
	開館日数	総入館者数	一般	大学生	高校生以下	一日平均	
4	26	3,302	2,109	36	1,157	127.0	14,661
5	26	5,923	3,329	83	2,511	227.8	24,999
6	26	3,354	2,177	36	1,141	129.0	7,059
7	27	3,317	2,059	89	1,169	122.9	3,888
8	26	5,164	3,078	120	1,966	198.7	8,491
9	26	3,213	1,946	56	1,211	123.6	3,746
10	26	5,732	3,067	48	2,617	220.5	7,693
11	26	5,526	3,121	22	2,383	212.5	16,046
12	24	2,625	1,687	16	922	109.4	6,635
1	24	3,882	2,342	16	1,524	161.8	3,920
2	24	5,367	3,627	37	1,703	223.6	5,741
3	27	3,812	2,449	51	1,312	141.2	4,052
計	308	51,217	30,991	610	19,616	166.3	106,931

特別展	期 間	期間中入館者数
発見！いにしへの岐阜 - 弥生・古墳・古代 -	9/16(金)～11/13(日)	9,653 人
パレオアート作品展 - 二人のパレオアーティスト	12/9(金)～2/26(日)	9,763 人

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、県政モニターの方に回答していただいたり、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函したりする方法で行っているものである。

【表1 来館目的（複数選択可 n=609、R4年4月～R5年3月）】

目 的	回答数	構成比
特別展・企画展の観覧	232	38.1%
常設展	122	20.0%
マイミュージアムの観覧	39	6.4%
催し物への参加	22	3.6%
講座・講演会	9	1.5%
初めてで興味があつた	63	10.3%
公園に来て	68	11.2%
その他	54	8.9%

来館目的では、表1に示すように、「特別展・企画展」「常設展」の2項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。「百年公園に来たので（11.2%）」「初めてで興味を持ったので（10.3%）」については、百年公園内での掲示や、各種メディアへの情報提供、民間施設など館外での出展などによる広報活動が功を奏したものと考えられる。

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも95%以上と高い。特別展・企画展もさるこ

【表2 来館者の満足度（選択式 n=436、R4年4月～R5年3月）】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。
このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足、不満足として示す。

内 容	満足	不満足
特別展・企画展	97.2	2.8
常設展	97.2	2.8
MMG	96.9	3.1
展示解説	97.1	2.9
催し物	96.6	3.4

[%]

とながら、常設展のよさにも気づいていただけていることがわかる。常設展を活用した子ども用の展示ワークシートが家族連れの来館者を中心に楽しまれているほか、各種の催し物も全般的に好評であった。

記述式による回答には、「古生物の復元図、模型でリアル感ある姿が観られ、興味深かった。」「大河ドラマ放映中の今、タイムリーな企画だった。」など、県博物館としての存在意義を示すような意見も複数見られた。建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、ショップの営業など、ハード面に関する要望もあった。館内外にある魅力的な資源（物的、人的、環境的など）の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実を図っていく。

コロナ感染対策に対するご意見はほとんどなく、多くの来館者にご理解いただけていると感じた。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

令和4年度の一般会員数は260名、後援会員は6団体（企業）である。会員数はここ数年ほぼ横ばい状態。これは、特別展・企画展の充実により加入者は増えているが、一方で、継続会員の高齢化が進み、退会者も多いのが現実である。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

令和4年度の主な事業、行事は次の通りである。

①会議

春季理事会・総会	5月12日（木）
秋季理事会	10月13日（木）
会長・副会長会議	令和5年3月11日（土）

②各種委員会

会報委員会	4月14日（木）
七草委員会	なし
探訪委員会	7月6日（木）
	令和5年3月11日（土）
会計監査	4月15日（木）

③広報誌の発行

「友の会報」は134号（6月）、135号（10月）、136号（2月）の年3回発行した。「会員の声」を多く掲載、A4判6頁モノクロ、290部。また、会報の一部を博物館HPに掲載し、博物館の展覧会紹介等の広報に資した。

④図録の刊行と在庫図録の販売

企画展「蔵出し！骨のあるやつ（改訂版）」、特別展「発見！古の岐阜 一弥生・古墳・古代」、特別展「パレオアート作品展—二人のパレオアーティスト」、企画展「天下人 家康と美濃の諸将」の4種類の図録を増刷刊行した。どの図録も、好評であった。館内ショップでの販売と、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館」、「下呂発湯温泉博物館」での委託販売が中心である。

⑤博物館との共催事業の実施

- ・特別行事
「七草がゆを食べよう」（1月7日予定）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため秋季理事会で開催中止を決定した。3年連続である。
- ・わくわく体験
化石クリーニング体験、化石レプリカづくり等、サポーターの協力を得て実施した。
- ・けんぱく教室
「手羽先で骨格標本づくり」等を実施。また、館外で、地域のイベントや民間商業施設での出張けんぱく教室も実施した。

⑥友の会員の入館料助成・博物館のサポート

今年度の会員の博物館入館者は、常設展289人、特別展255人の計544人。コロナ感染第7波、第8波があったが前年度より増加した。

友の会の角2封筒に博物館HP・ツイッターのQRコードを掲載する、チラシの配付数・回数を増やす等、博物館の広報に努めた。また、ミュージアムショップの充実をはかったり「みんなの部屋」に図書資料を寄贈したり等、博物館の来館者満足度の向上に資することにつとめた。

⑦探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和61年以降、国内探訪として、歴史的な名所、旧蹟を訪ねる旅行を83回実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに15回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

令和4年度の探訪の旅は、計画立案をしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響があるため中止とした。

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

令和4年度は県民文化講演会「生命を捉えなおす ～動的平衡の視点から～」のほか、公開講座（年5回）、機関紙発行（年2回）、会員研修会（年2回）等の諸事業を行った。

令和5年3月現在、会員館は112館、個人会員は14名。主な役員は次のとおりである。

会 長：若宮 多門
副会長：名和 哲夫、日比野 克彦、森島 勝博
石崎 泰之、牛丸 岳彦

なお、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/15	第1回企画委員会
5/27	第1回理事会・総会・会員研修会
7/1	第2回企画委員会
7/17	飛騨ブロック 公開講座
7/30-31	飛騨ブロック 3D 研修
9/30	機関紙『岐阜の博物館』No. 191 発行
11/26	東濃ブロック 公開講座
12/7	第46回東海三県博物館協会研究交流会（岐阜）
1/15	中濃ブロック 公開講座
1/24	会員研修会『博物館浴』その効果とこれからを考える
2/8	第3回企画委員会
2/18	県民文化講演会「生命を捉えなおす ～動的平衡の視点から～」
3/5	中濃ブロック 公開講座
3/10	第2回理事会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』No. 192 発行

Ⅳ 利用案内（令和5年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

●入館料

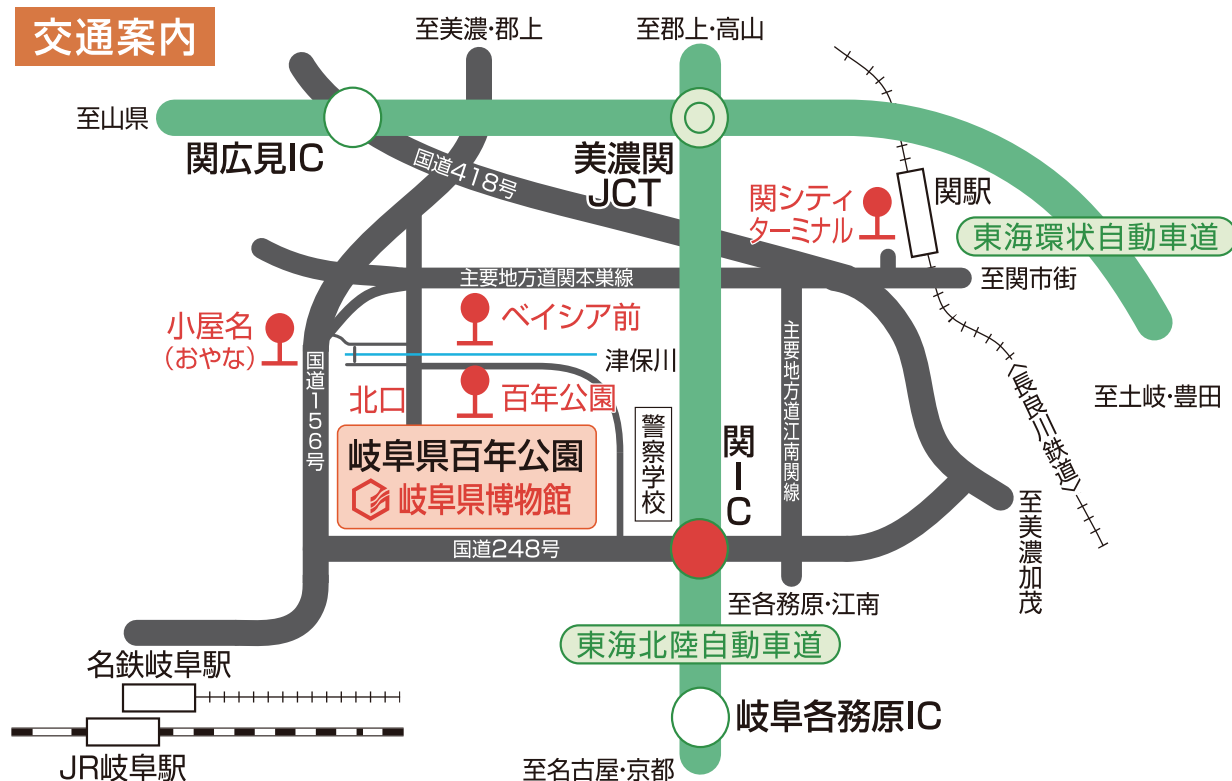
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	340(280)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
高校生以下	無料	無料	

（ ）は20名以上の団体

- 休館日 ・月曜日（祝日または振替休日の月曜日は開館し、その直後の平日が休館）
・年末年始（12月29日～翌年1月3日）

- 駐車場 岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。

交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分

- 岐阜バス（小屋名バス停下車 徒歩20分）

※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。
（岐阜関線、岐阜美濃線）

※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（岐阜関線）

- 関シティバス（百年公園バス停下車 300m）

※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。
（わかくさ・小金田線、わかくさ・千足線）

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください。
北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所までお申し出ください。
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km（勾配有り）です。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

岐阜県博物館報 第46号

令和5年(2023)4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL <0575> 28-3111

印 刷 株式会社 大一プリント